



**SUBARU**

広報資料

**会社概況**

**富士重工業株式会社**

**2011**

# 目 次

## 会社概要

1. 概 況 .....	2
2. 2011-2015 中期経営計画 “Motion- V” .....	3
3. 役 員 .....	4
4. 組 織 .....	5
5. 国内主要事業所 .....	6
6. 主な関係会社の概況（国内） .....	7
7. 主な関係会社の概況（海外） .....	9
8. 従業員の状況 .....	10
（従業員数の推移、労働組合、定期採用の 推移、中途採用の推移）	
9. 教育施設 .....	11
10. 福利厚生施設 .....	11

## 業 績

1. 連結売上高・利益の推移 .....	12
2. 単独売上高・利益の推移 .....	13
3. 設備投資額・減価償却費・ 試験研究費の推移（連結） .....	13
4. 配当金について .....	13

## 株 式

株式 .....	14
（株式総数、所有者別状況、大株主）	

## 自動車部門

1. ブランドステートメント Confidence in Motion .....	15
2. スバルのコア技術 .....	15
3. 商品展開 .....	16
4. 生産実績の推移 .....	18
5. 国内販売台数の推移（連結） .....	19
6. 海外販売台数の推移（連結） .....	19
7. 完成車と海外生産用部品の輸出 .....	19
8. スバル車 国内車種展開の推移 .....	20
9. 国内販売代理店一覧 .....	22
10. 海外市場の概況 .....	23
11. 米国生産拠点 .....	23

## 航空宇宙カンパニー

航空機機体生産の推移 .....	24
------------------	----

## 産業機器カンパニー

1. 単体エンジン販売台数の推移 .....	26
2. エンジン生産台数の推移 .....	26
3. 商品展開 .....	26
4. ロビン製品広域特約店 .....	27

## エコテクノロジーカンパニー

1. 主要製品生産の推移 .....	28
2. 商品展開 .....	28
3. 全国富士特車会特約店 .....	29

## 沿 革

1. 前史 .....	30
（中島飛行機時代、富士産業時代、 第二会社時代）	
2. 富士重工業株式会社 .....	31

# 会社概要

## 1. 概 況

会 社 名	富士重工業株式会社（英訳名：Fuji Heavy Industries Ltd.）
創 立	1953年（昭和28年）7月15日 創業：1917年（大正6年5月）
本 社 所 在 地	東京都新宿区西新宿一丁目7番2号 電話 03-3347-各部署ダイヤル直通 代表 03-3347-2111
代 表 者	代表取締役社長 吉 永 泰 之
主 な 事 業 内 容	【自動車】 軽自動車、小型自動車、普通自動車ならびにその部品の製造、修理および販売 【航空宇宙】 航空機、宇宙関連機器ならびにその部品の製造、販売および修理 【産業機器】 発動機および発動機搭載機器、農業機械、林業機械、建設機械その他各種機械器具 ならびにその部品の製造、修理および販売 【エコテクノロジー】 特殊車両、塵芥収集車、風力発電、清掃機器、搬送機器等の製造、販売および修理
資 本 金*	153,795 百万円
従 業 員 総 数*	12,817 人（連結会社 合計 27,296 人）

※ 2011年3月末日現在

### 企業理念（1994年11月制定）

1. 私たちは常に先進の技術の創造に努め、お客様に喜ばれる高品質で個性のある商品を提供します。
2. 私たちは常に人・社会・環境の調和を目指し、豊かな社会づくりに貢献します。
3. 私たちは常に未来をみつめ国際的な視野に立ち、進取の気性に富んだ活力ある企業を目指します。

### 品質方針（1994年11月制定）

常にお客様の満足を第一に考え、仕事の質を高めて、トップクラスの品質の商品とサービスを提供する。

### 環境方針（2010年3月改定）

常に地球環境と事業活動の深い関わりを認識し、「クリーンな商品」を「クリーンな工場、オフィス」から「クリーンな物流、販売店」を通してお客様にお届けし、社会の持続的な発展を目指します。また、法規制・地域協定・業界規範の順守はもとより、社会・地域貢献、自主的・継続的な改善、汚染の未然防止に取り組んでいきます。

### コーポレートシンボル（2003年7月15日設定）



2003年7月15日に1953年の創立から数えて50周年を迎えたことにあわせ、将来同社が新しいブランドイメージを築くことを目指し、自動車事業スバルの「六連星」をコーポレートシンボルとして富士重工業を表現するものとして定義しました。

### 環境シンボルマーク（2005年6月制定）



「葉」を中心に、「緑の大地」と「青い空」を配した地球をコンセプトにしたデザインに、富士重工業の環境方針の「地球と社会と人にやさしい商品と環境づくり」に積極的に取り組んで行く想いをこのマークに込めています。

### 商 標

スバル（1958年3月採用）



スバルとは、別名「六連星（むつらぼし）」とも呼ばれる星団の名前で、純粋な日本語です。この星団は牡牛座に属し、プレアデス星団（Pleiades）の名でも知られています。スバルのマークは、これをデザインしたものです。なお、自動車の名前に和名を使ったのはスバルが最初です。

ロビン（1956年5月採用、1960年7月商標登録）



「ロビン」は汎用エンジンに付けられた名前です。ロビンのマークは、誰からも親しまれている、かわいらしくて働き者の駒鳥をデザインしたものです。

## 2. 2011-2015 中期経営計画 “Motion- V”

中期経営計画 “Motion- V (モーションファイブ)” は、富士重工業（株）のコア事業である自動車部門 “スバル” が、今後 10 年以内に年間 100 万台を越える販売をする、という成長目標を達成するための基盤固めとなる 2011 年度から 2015 年度までの 5 年間の計画です。商品開発、販売、生産のそれぞれの活動で事業の規模を拡大し、さらに原価低減活動やアライアンス効果を組み合わせ、環境技術の開発投資、原価上昇、為替変動などのさまざまなリスクや環境変化を克服し、成長を目指します。

本計画の実現に向け、これまで通り「お客様第一」を基軸におきながら、Confidence in Motion ～信頼と革新～を行動指針として、諸課題の解決に取り組みます。

### 【Motion- V 5つのテーマ】

#### 1. 行動改革 <行動指針 Confidence in Motion ～信頼と革新～>

行動指針に貫かれたチーム全員の積極的な行動で、新中計の完遂を目指す

#### 2. 新たなスバルらしさの追求

- ・ブランド：スバルがお客様に提供する価値を「安心と愉しさ」と定義し、スバルのブランド価値を高め、スバルの拡販につながるファン層を拡大する
- ・安全技術：危険回避、衝突安全、予防安全のオールアラウンドセーフティで世界のトップブランドを目指す
- ・環境技術：全車系で環境対応パワーユニットへ刷新し、燃費性能を約 30%向上する
- ・商品計画：新型車 3 車種、ハイブリッド車の投入、先進運転支援システム EyeSight 搭載車の拡大など、商品力向上と商品ラインナップの拡充を実現する

#### 3. 加速する規模の拡大

- ・販売戦略として米国と中国を重点市場と定め、経営資源を投下して大幅な拡販を図る
- ・生産能力、為替対応力向上のため、中国現地生産化を実現する
- ・国内工場では軽自動車工場の乗用車工場への刷新と、環境性能に優れた新型パワーユニットの生産拡大
- ・マレーシアでの KD 生産を実現し、FTA 活用により成長市場へアプローチする

#### 4. 事業基盤の強化

- ・お客さま視点での品質レベルを向上するとともに、海外市場の広がりに対応しグローバル体制を強化する
- ・環境対応などの原価上昇の吸収を目指し、次期モデルで 20%レベルの原価低減に取り組む
- ・トヨタとの提携効果の追求
- ・共同開発車 FR スポーツ 2012 年春市場導入、さらに商品強化策を検討する
- ・軽自動車は 2012 年春に全車種をダイハツ製 OEM 車に切り替え、コンパクトカーをトヨタ製 OEM 車の商品力強化に関して検討を進める
- ・北米でのカムリの受託生産を継続し、国内では共同開発車 FR スポーツを生産する

#### 5. 経営の質の向上

- ・航空宇宙、産業機器、エコテクノロジーの各カンパニーは収益確保を前提とし、将来の事業の自立、成長を見極める
- ・高い目標に挑戦し、グローバルで活躍する人材を育成し、働き方の多様化を進め、従業員満足度を向上させる
- ・社外取締役の招聘と、独立役員を増強することによりコーポレートガバナンスを強化する
- ・毎期の業績、投資計画、経営環境を勘案しながら、継続的な配当を基本としつつ、ROE の改善を視野に入れ、業績連動の考え方を取り入れていく

### 【2011-2015 中期経営計画：数値目標】

#### ◆ 2015 年度販売台数 90 万台

(北米 38 万台、中国 18 万台、日本 16 万台、欧州 6 万台、豪州 5 万台、その他 7 万台)  
※販売台数は当社単独の完成車出荷台数と海外生産用部品出荷、および OEM 出荷台数の合算

#### ◆ 2015 年度連結営業利益 1,200 億円

(営業利益率 6%レベル、想定レート ¥90/US\$, ¥120/EURO、現行会計制度に基づく)

#### ◆ 試験研究費総額 2,500 億円、設備投資総額 3,300 億円、減価償却費総額 3,100 億円

※各金額は 5 年間の合計

### 3. 役員

#### 取締役

(2011年6月24日現在)

役名	氏名	業務執行責任範囲および管掌
代表取締役会長	森 郁夫	CEO
代表取締役社長	吉永 泰之	COO
代表取締役副社長	近藤 潤	スバルカスタマーセンター、スバル部品用品本部、スバル製造本部、スバル オブ インディアナオートモーティブ インク (S I A)、航空宇宙カンパニー
取締役専務執行役員	馬 渕 晃	戦略本部、知的財産部、スバル商品企画本部、スバル技術本部、スバル技術研究所
取締役専務執行役員	武藤 直人	スバル原価企画管理本部、スバル購買本部
取締役専務執行役員	池田 智彦	秘書室、財務管理部、広報部、人事部、情報企画部、総務部、法務部、監査部、スバルグローバルマーケティング本部、スバル品質保証本部
取締役	有馬 利男	

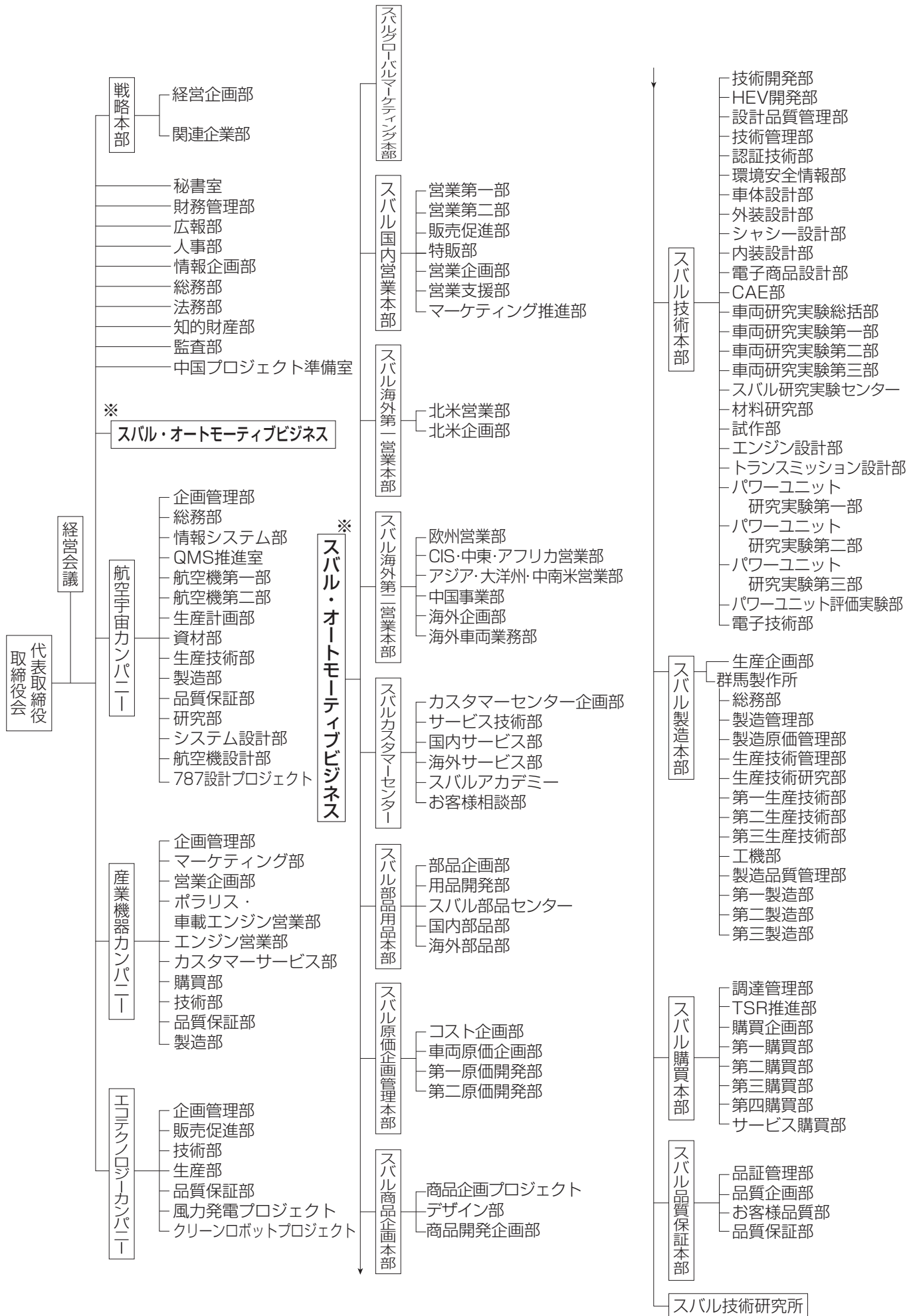
#### 執行役員

役名	氏名	業務執行責任範囲
専務執行役員	高橋 充	CFO、財務管理部、広報部、総務部、エコテクノロジーカンパニー
専務執行役員	灰本 周二	戦略本部
専務執行役員	高田 充	スバル海外第二営業本部、中国プロジェクト準備室
常務執行役員	鴨川 珠樹	スバル原価企画管理本部
常務執行役員	永野 尚	航空宇宙カンパニー
常務執行役員	宮脇 基寿	スバル商品企画本部、スバル技術本部
常務執行役員	日月 丈志	スバル海外第一営業本部、スバル オブ アメリカ インク (SOA)
常務執行役員	笠井 雅博	スバル製造本部
執行役員	野村 元清	スバル オブ インディアナ オートモーティブ インク (S I A)
執行役員	上野 康男	産業機器カンパニー
執行役員	小林 英俊	スバルグローバルマーケティング本部
執行役員	平川 良夫	スバル技術本部、知的財産部
執行役員	下川 良一	スバル部品用品本部
執行役員	務川 達彦	スバル品質保証本部
執行役員	小坂井 康雄	スバルカスタマーセンター、スバル国内営業本部
執行役員	中井 毅	スバル海外第二営業本部
執行役員	野 餉 康 伸	スバル購買本部、スバル原価企画管理本部
執行役員	高橋 正士	スバル技術本部、スバル技術研究所
執行役員	飯田 政巳	スバル国内営業本部
執行役員	中村 知美	戦略本部

#### 監査役

役名	氏名	
常勤監査役	高木 俊輔	
常勤監査役	及川 博之	
常勤監査役	今井 伸茂	
監査役	宮川 義一	

4. 組織 (2011年7月1日現在)



## 5. 国内主要事業所

(2011年3月末現在)

事業所名	所在地	土地面積 (㎡)	建物延面積 (㎡)	従業員数 (人)	主な生産品目	
本 社	〒160-8316 東京都新宿区西新宿 1-7-2 TEL 03(3347) 各部署ダイヤル直通 代表 03(3347)2111	1,600	(7,254) 0	593	—	
	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町 1-854-1 TEL 048(653) 各部署ダイヤル直通	3,644	4,268	55	—	
	〒193-0941 東京都八王子市狭間町 1460 TEL 042(666)6541	10,397	13,378	39	—	
東京事業所	〒181-8577 東京都三鷹市大沢 3-9-6 TEL 0422(33) 各部署ダイヤル直通 代表 0422(33)7000	158,147	68,219	1,056	—	
群馬製作所	本工場	〒373-8555 群馬県太田市スバル町 1-1 TEL 0276(26) 各部署ダイヤル直通 代表 0276(26)2011	(3,736) 585,521	312,793	3,139	サンバー
	矢島工場	〒373-0822 群馬県太田市庄屋町 1-1 TEL 0276(48)2701	549,845	254,630	2,759	レガシィ、 エクシーガ、 インプレッサ、 フォレスター
	太田北工場	〒373-0027 群馬県太田市金山町 27-1 TEL 0276(26)2671	43,750	26,841	53	自動車用部品
	大泉工場	〒370-0531 群馬県邑楽郡大泉町いずみ 1-1-1 TEL 0276(48)2881	316,177	227,823	1,728	自動車用発動機 自動車用変速機
	伊勢崎工場	〒372-8508 群馬県伊勢崎市末広町 100 TEL 0270(21)2020	177,426	56,332	81	自動車用部品
産業機器カンパニー 埼玉製作所	〒364-8511 埼玉県北本市朝日 4-410 TEL 048(593) 各部署ダイヤル直通 代表 048(593)7755	143,438	92,061	448	発動機	
航空宇宙カンパニー	宇都宮製作所	〒320-8564 栃木県宇都宮市陽南 1-1-11 TEL 028(684) 各部署ダイヤル直通 代表 028(684)7777	337,457	176,895	1,881	航空機
	半田工場	〒475-0032 愛知県半田市潮干町 1-27 TEL 0569(29)4801	49,041	11,269	372	航空機
	半田西工場	〒475-0804 愛知県半田市上浜町 102 TEL 0569(32)2501	(7,267) 41,977	13,809	27	航空機
エコテクノロジー カンパニー エコ宇都宮工場	〒320-8564 栃木県宇都宮市陽南 1-1-11 TEL 028(684) 各部署ダイヤル直通 代表 028(684)7777	171,816	51,689	200	産業車両 風力発電システム	
その他	福利施設	—	(52,373) 218,639	(130,599) 109,725	—	
	その他 (注2の①～⑤)	—	(24,510) 6,468,311	(561) 321,780	出向他 386	
合 計			(87,886) 9,277,186	(138,414) 1,741,512	12,817	

(注) 1. 土地面積、建物延面積欄における上段( )は借用面積を示し外数。

2. その他の内訳

①飛行場跡地(群馬県大泉町、太田市 767,353㎡)

②スバル研究実験センター(栃木県佐野市:土地 1,080,832㎡、建物 24,378㎡、北海道美深町:土地 3,614,140㎡、建物 481㎡)

③宇都宮滑走路(栃木県宇都宮市 185,720㎡)

④販売店貸与設備(土地 193,879㎡、建物 123,387㎡)

⑤本社部門設備 他

3. 福利施設には寮、社宅 34 カ所を含む。

4. 従業員数には、嘱託、見習従業員、退職者を含む。

## 6. 主な関係会社の概況（国内）

（2011年7月1日現在）

会社名 ホームページ URL	設立年月日	資本金 (百万円)	所在地 (TEL)	当社持株 (比率%)	代表者	人員 (人) (2011年3月末現在)	2010年度 売上高 (百万円)	事業内容
輸送機工業(株) Yusoki Kogyo K. K. http://www.yusoki.co.jp/	1950.7.15	100	〒475-8668 愛知県半田市上浜町 102番地 0569-21-3311	100.0	西 國 春 義	98	1,693	航空機部品の製造、販売
富士機械(株) Fuji Machinery Co., Ltd. http://www.fuji-machinery.co.jp/	1950.7.18	480	〒371-0035 群馬県前橋市岩神町 2-24-3 027-231-3111	100.0	森 川 道 雄	350	22,683	自動車部品・産業機械・ 農業用トランスミッ ションの製造、販売
(株)イチタン Ichitan Co., Ltd. http://www.ichitan.co.jp/	1951.2.2	480	〒373-0037 群馬県太田市新道町 74 0276-31-2331	100.0	森 川 道 雄	203	12,887	自動車・産業機械用鍛 造品の製造、販売
桐生工業(株) Kiryu Industrial Co., Ltd. http://www.kiryu-kogyo. co.jp/	1960.12.23	400	〒376-0011 群馬県桐生市相生町 2-704 0277-53-1111	97.7	中 野 幸 夫	167	2,794	スバル特装車の製造・ スバル用品の物流管 理・スバルエンジン、 トランスミッション等 の再生
スバル興産(株) Subaru Kohsan Co., Ltd. http://www.subaru-kohsan.co.jp/	1977.2.2	675	〒150-0013 渋谷区恵比寿 1-20-8 03-3448-4591	100.0	奥 原 一 成	66	6,020	不動産の売買・賃貸業、 貸ホール・貸会議室の 運営・管理、貸駐車場 の運営管理及び賃貸、 旅行代理店業
(株)東扇島物流センター H. B. C. Co., Ltd.	1983.8.28	490	〒210-0869 川崎市川崎区東扇島 28 044-277-3761	68.0	相 田 守	18	1,037	海外向自動車の保管並 びに出荷業務
富士テクノサービス(株) Fuji Techno Services Co., Ltd. http://www.fts.ne.jp/	1985.3.2	70	〒181-8577 三鷹市大沢 3-9-6 0422-33-7596	100.0	清 水 一 良	521	3,621	自動車・航空機・汎用 エンジン・環境機器等 のデザイン、設計、研 究実験及び各種調査、 技術資料作成 他
(株)スバルロジスティクス Subaru Logistics Co., Ltd. http://www.subaru-logistics. co.jp/	1986.3.27	96	〒373-0814 群馬県太田市朝日町 558-1 0276-48-3131	100.0	木 村 正 一	169	15,891	自動車及びその部品の 梱包、出荷、陸送業、 倉庫業、整備業、保険 代理店業
スバル用品(株) Subaru Auto Accessories Co., Ltd. http://www.e-saa.co.jp/	1987.3.9	70	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区 宮原町 1-854-1 048-652-5603	100.0	下 川 良 一	35	6,699	自動車の用品、部品及 び自動車整備用機械器 具等の販売、研究開発、 技術供与、輸出入業
(株)ロビンサービス Robin Service Co., Ltd.	1987.4.1	20	〒363-0002 埼玉県桶川市赤堀 2-17-11 048-728-7088	100.0	上 野 康 男	59	1,319	発動機、自動車及びそ の部品の在庫管理、出 荷、梱包請負業
新スバル中販(株) Subaru Used cars Sales & Marketing Co., Ltd. http://www.subaru-chuhan.jp/	1988.4.2	100	〒243-0303 神奈川県愛甲郡愛川町 中津 字下六倉 2536-1 0462-86-5311	100.0	関 根 秀 一	23	1,586	中古車政策関連業務、 SUAA 関東運営事務 局、用品販売
スバルリビングサービス(株) Subaru Living Service Co., Ltd. http://www.subaru-sls.co.jp/	1988.4.2	20	〒150-0013 渋谷区恵比寿 1-20-8 03-3445-2177	100.0	桜 井 智	298	8,689	事務用消耗品・日用雑 貨の販売、不動産の売 買、賃貸借、仲介、管 理、個人輸入代行等
スバルテクニカインターナショナル(株) Subaru Technica International Inc. http://www.subaru-sti.co.jp/	1988.4.2	250	〒181-8577 三鷹市大沢 3-9-6 0422-33-7848	100.0	唐 松 洋 之	68	2,429	モータースポーツ関連 業務受託、モータース パーツ用部品・グッズ 販売、技術開発、試験 研究受託、自動車の整 備
スバルファイナンス(株) Subaru Finance Co., Ltd. http://www.subaru-finance. co.jp/	1988.7.1	2,000	〒150-0013 渋谷区恵比寿 1-20-8 03-3445-2111	100.0	石 原 卓	224	25,678	自動車リース並びにレ ンタル業、クレジット 業、金銭の貸付、保険 代理店業

会社名 ホームページ URL	設立年月日	資本金 (百万円)	所在地 (TEL)	当社持株 (比率%)	代表者	人員 (人) (2011年3月末現在)	2010年度 売上高 (百万円)	事業内容
富士航空整備(株) Fuji Aircraft Maintenance Co., Ltd.	1988.10.31	30	〒101-0041 千代田区神田須田町 1-28 03-3257-1533	100.0	梅原英資	189	1,402	航空機：搭載用装備品の点検、検査及び整備
(株)エフ・イー・エス Fuji Aerospace Corporation	1991.6.14	30	〒320-0834 栃木県宇都宮市陽南 1-2-15 028-645-9509	100.0	木村雪夫	109	935	航空機用部品の加工及び組立
フジ特車(株) Fuji Special Purpose Vehicle Co., Ltd.	1991.10.1	50	〒331-0814 埼玉県さいたま市北 区東大成町 2-563-10 048-653-5845	100.0	荒井直人	21	696	塵芥収集車、構内運搬車等の販売及びサービス、レンタル業
スバルシステムサービス(株) Subaru System Service Co., Ltd. <a href="http://www.sss.ne.jp/">http://www.sss.ne.jp/</a>	1993.4.1	100	〒331-0812 埼玉県さいたま市北 区宮原町 1-854-1 048-653-5752	100.0	池田智彦	193	5,574	情報システムの開発・保守・運用・コンサルティング並びに情報機器の販売・リース
富士エアロスペース テクノロジー(株) Fuji Aerospace Technology Co., Ltd. <a href="http://www.fatec.jp/">http://www.fatec.jp/</a>	1994.4.1	20	〒321-0102 栃木県宇都宮市江普 島 1146-2 028-659-7436	100.0	戸塚正一郎	93	2,162	航空機、宇宙機器等の設計・製図・翻訳・計算・解析試験及びソフトウェア開発作業等請負他
富士重工ハウス(株) Fuji Heavy Industries House Co., Ltd. <a href="http://www.fhc-house.co.jp/">http://www.fhc-house.co.jp/</a>	1999.9.1	200	〒372-8508 群馬県伊勢崎市末広 町 100 0270-30-3147	87.2	吉田昭男	31	1,186	仮設ハウスのレンタル及びリース・販売業、仮設ハウスの運搬組立、中古ハウスの売買（関東地区）
大和商工(株) Daiwa Shoko., Ltd. <a href="http://www.daiwa-sk.jp/">http://www.daiwa-sk.jp/</a>	1956.2.15	50	〒142-0063 東京都品川区荏原 1-4-1 03-3783-9131	100.0	寺内一夫	53	2,059	搬送設備機械及び廃棄物の収集・運搬・貯留機器のシステム販売及びエンジニアリング
スバル・インテリジェント・サービス(株) Subaru Intelligent Service Ltd. <a href="http://www.sisl.co.jp/">http://www.sisl.co.jp/</a>	2005.3.1	40	〒181-8577 東京都三鷹市大沢 3-9-6 0422-33-7270	75.0	小笠原成和	39	1,369	サービスマニュアル、オーナーズマニュアル等各種サービス技術資料の制作
富士重工産機販売(株) Fuji Industrial Products Sales Co., Ltd.	2006.2.13	298	〒364-8511 埼玉県北本市朝日 4-410 048-593-7955	100.0	岩下昭夫	42	6,246	小型汎用エンジンの販売

## 7. 主な関係会社の概況（海外）

(2011年7月1日現在)

	名称(現地名称)	設立年月日	所在地	事業内容	責任者
自動車	スバル オブ アメリカ インク Subaru of America, Inc.	1990.9	Subaru Plaza, 2235 Route 70 West Cherry Hill, NJ 08002, U.S.A	スバル車及び部品の販売等	日 月 丈 志
	米国富士重工業(株) Fuji Heavy Industries U.S.A., Inc	1985.9	C/O Subaru of America, Inc. Subaru Plaza, 2235 Route 70 West Cherry Hill, NJ 08002, U.S.A	スバル車に対する北米市場内の技術調査、米国における自動車関連の官庁対応	小 林 一 哉
	スバル リサーチ アンド ディベロップメントインク Subaru Research & Development, Inc.	1986.6	3995 Research Park Drive, Ann Arbor, MI 48108, U.S.A.	米国自動車市場全般に関する技術情報の収集及びスバル車の研究・開発等	平 川 良 夫
			6431 Global Drive Cypress, CA 90630, U.S.A		
	スバル オブ インディアナ オートモーティブインク Subaru of Indiana Automotive, Inc.	1987.3	5500 State Road 38 East, Lafayette, IN 47905, U.S.A.	スバル車等の製造、生産用部品の購入、スバル オブ アメリカ インク他への販売	野 村 元 清
	スバル カナダ インク Subaru Canada, Inc.	1989.10	560 Suffolk Court Mississauga, Ontario, L5R 4J7, Canada	スバル車及び部品の販売	太 田 士 郎
	スバル ヨーロッパ Subaru Europe N.V./S.A.	2002.3	Leuvensesteenweg 555 B/8,1930 Zaventem, Belgium	スバル車及び部品の販売	竹 中 智 雄
	スバル ヴィークル ディストリビューション Subaru Vehicle Distribution B.V.	2001.5	Merseyweg 40, 3197 KG Botlek Kingdom of the Netherlands	中部欧州地区特約店向け車両陸揚げ及び内陸輸送受託、PDI作業	逸 見 一 暁
	斯巴鲁汽车(中国)有限公司 スバル オブ チャイナ Subaru of China, Ltd.	2006.3	中華人民共和国 北京市朝陽区東三環北路8号 亮馬河大廈2座1501	スバル車及び部品の販売等	鈴 木 一 成
	中国駐在員事務所 Fuji Heavy Industries Ltd. China Office		中華人民共和国 北京市朝陽区東三環北路8号 亮馬河大廈2座1506	中国における日本自動車工業会対応、中国自動車市場全般に関する情報収集	
産業機器	ロビン・アメリカ インク Robin America, Inc.	1993.11	905 Telser Road, Lake Zurich, IL 60047-1536, U.S.A.	当社製産業機器、ロビン・マニュファクチャリングUSA インク製産業機器の販売	土 居 浩 太
	ロビン・マニュファクチャリングUSA インク Robin Manufacturing U.S.A., Inc.	1994.10	1201 Industrial Road, Hudson, WI 54016, U.S.A.	当社製産業機器生産用部品の購入、産業機器のロビンアメリカ インク他への製造販売	堀 健 吾
	ロビン・ヨーロッパ Robin Europe GmbH Industrial Engine and Equipment	1998.6	Willicher Damm 135-137 D-41066 Monchengladbach, Germany	当社製産業機器製品及び部品の欧州向け販売	富 田 秀 典
	シンガポール富士重工業 Fuji Heavy Industries (Singapore) Pte. Ltd.	1995.2	8 Jurong Town Hall Road #23-02 The JTC Summit Singapore 609434	当社製産業機器製品及び部品の東南アジア向け販売	内 田 光 太 郎
	常州富士常柴羅賓汽油機有限公司 Changzhou Fuji Changchai Robin Gasoline Engine Co., Ltd.	1999.10	中華人民共和国 江蘇省常州市新北区長江北路 28号	産業機器の中国国内及び当社への製造販売	桑 原 章 郎
	日本富士重工業株式会社 上海代表処 FUJI HEAVY INDUSTRIES LTD. SHANGHAI		中華人民共和国 上海市長寧区仙霞路319号 遠東国際広場ビルA棟	当社製産業機器製品用部品の中国調達支援	新 井 喜 好

## 8. 従業員の状況

### (1) 従業員数の推移（単独）

年度	区分	従業員数（人）			平均年齢 （歳）	平均勤続年数 （年）
		男	女	計		
2007年3月末		11,914	887	12,801	38.3	17.8
2008年3月末		11,929	872	12,801	38.7	18.0
2009年3月末		11,968	875	12,843	38.8	18.0
2010年3月末		12,118	891	13,009	38.7	17.7
2011年3月末		11,942	875	12,817	38.8	17.7

※ 役員、非常勤嘱託、顧問を除く。

### (2) 労働組合

労働組合は、富士重工業労働組合を結成しており、組合員数 11,495 人(2011年4月1日現在)、富士重工業関連労働組合連合会を通じて全日本自動車産業労働組合総連合会に所属しています。

### (3) 定期採用の推移

単位：人/( )女性内数 / 短大は高専に含む。

区分	年度	2007年度				2008年度				2009年度				2010年度				2011年度			
		大	高専	高他	計	大	高専	高他	計	大	高専	高他	計	大	高専	高他	計	大	高専	高他	計
事務	(9)	-	(5)	(14)	(8)	-	(5)	(13)	(5)	-	(8)	(13)	(1)	-	(1)	(2)	(1)	-	(4)	(5)	
	37		9	46	36		7	43	32		12	44	10		1	11	18		4	22	
技術	(3)	(4)	(0)	(7)	(8)	(7)	(0)	(15)	(11)	(4)	(1)	(16)	(2)	(2)	(0)	(4)	(2)	(0)	(3)	(5)	
	73	22	34	129	116	34	26	176	185	32	19	236	64	15	15	94	72	12	13	97	
技能	-	-	(12)	(12)	-	(0)	(10)	(10)	-	(0)	(15)	(15)	-	(0)	(6)	(6)	-	-	(4)	(4)	
			123	123		5	169	174		11	225	236		4	110	114			157	157	
計	(12)	(4)	(17)	(33)	(16)	(7)	(15)	(38)	(16)	(4)	(24)	(44)	(3)	(2)	(7)	(12)	(3)	(0)	(11)	(14)	
	110	22	166	298	152	39	202	393	217	43	256	516	74	19	126	219	90	12	174	276	

### (4) 中途採用の推移

単位：人/( )女性内数。

区分	年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
		正規	事務	14 (1)	32 (6)	8 (0)
	技術	12 (0)	71 (2)	74 (1)	17 (1)	1 (0)
	技能	5 (0)	28 (1)	1 (1)	-	24 (0)
	計	31 (1)	131 (9)	83 (2)	20 (2)	31 (2)
嘱託	事務	13 (2)	7 (0)	6 (1)	17 (0)	39 (0)
	技術	1 (0)	15 (0)	11 (0)	21 (0)	15 (0)
	技能	9 (0)	22 (2)	27 (0)	16 (0)	23 (0)
	計	23 (2)	44 (2)	44 (1)	54 (0)	77 (0)

## 9. 教育施設

(2011年7月1日現在)

教育対象	施設	設備	内容
富士重工業グループ従業員	スバル総合研修センター (東京都八王子市)	大研修室 (80人) 2室 中研修室 (30人) 9室 小研修室 (16人) 2室 討議室 (12人) 8室 宿泊室 (162人) 133室	〈販売特約店従業員向け〉 経営販売部門教育 サービス管理・部品部門教育 サービス技術部門教育 〈富士重工業従業員向け〉 階層別教育 プロフェッショナルプログラム(職能別教育) 国際化教育 など

## 10. 福利厚生施設

(2011年7月1日現在)

項目	本社	東京(事)	群馬(製)	埼玉(製)	宇都宮(製)	合計
社宅	322戸		567戸	30戸	246戸	1,165戸
独身寮	116室	263室	2,367室	45室	440室	3,231室
体育施設	テニスコート	体育館 テニスコート	体育館 グラウンド プール(温水) テニスコート 野球部室内練習場	トレーニングルーム テニスコート	体育館 グラウンド テニスコート 弓道場	
集会所 (社員クラブ)	—	森山荘	雄飛荘	—	弥生荘	3
保養所 (健保組合直営)	しらかば荘(長野県)(48) つばさ荘(栃木県)(30)		スバル荘(山梨県)(30) ( )内定員数			4
購買施設	1(売店)	1(売店)	3(生協)	1(売店)	1(生協)	
事業所内 診療施設	2	1	5	1	1	10
病院 (健保組合直営)	—	—	総合太田病院	—	—	1
老人保健施設 (健保組合直営)	—	—	八休苑	—	—	1

\*総合太田病院…内科他19科目、ベッド数445

\*八休苑定員数…入所52、通所33

# 業績

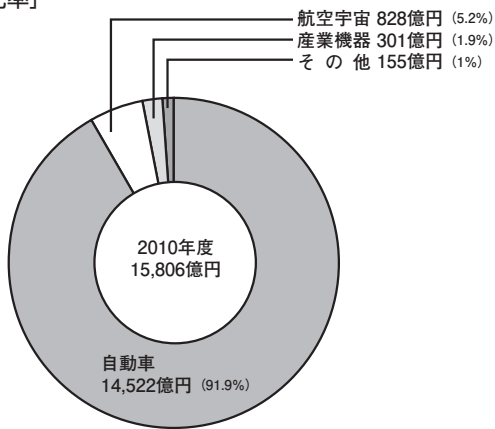
(2011年3月末現在)

## 1. 連結売上高・利益の推移

(単位：百万円)

年度	項目	部門別 (百万円)					売上高 (海外)	営業利益	経常利益	当期利益
		自動車	航空宇宙	産業機器	その他	消去又は全社				
2001年度 (平成13年度)	売上高	1,219,766	66,276	39,419	37,032	—	1,362,493 (731,228)	88,480	78,288	30,283
	営業利益	85,649	7,412	△ 290	△ 4,209	△ 82				
2002年度 (平成14年度)	売上高	1,229,807	63,009	41,586	37,935	—	1,372,337 (773,077)	67,521	58,566	33,484
	営業利益	67,307	3,359	△ 866	△ 3,114	835				
2003年度 (平成15年度)	売上高	1,316,951	56,632	42,257	23,611	—	1,439,451 (811,534)	50,324	56,614	38,649
	営業利益	52,114	△ 327	△ 299	△ 1,482	318				
2004年度 (平成16年度)	売上高	1,319,603	59,434	46,814	20,640	—	1,446,491 (819,432)	42,017	43,572	18,238
	営業利益	40,942	195	849	△ 590	621				
2005年度 (平成17年度)	売上高	1,329,161	81,787	52,436	12,984	—	1,476,368 (872,230)	58,339	46,768	15,611
	営業利益	51,559	2,795	2,038	1,231	716				
2006年度 (平成18年度)	売上高	1,339,291	94,012	49,699	11,815	—	1,494,817 (918,601)	47,906	42,215	31,899
	営業利益	37,831	5,674	1,508	2,257	636				
2007年度 (平成19年度)	売上高	1,421,179	99,673	40,678	10,816	—	1,572,346 (1,028,359)	45,680	45,437	18,481
	営業利益	37,141	4,442	659	2,525	913				
2008年度 (平成20年度)	売上高	1,316,305	80,873	34,912	13,701	—	1,445,790 (938,276)	△ 5,803	△ 4,600	△ 69,933
	営業利益	△ 9,201	1,575	△ 1,643	3,118	348				
2009年度 (平成21年度)	売上高	1,294,451	93,216	23,913	17,110	—	1,428,690 (907,854)	27,350	22,361	△ 16,450
	営業利益	21,716	4,812	△ 2,437	2,560	699				
2010年度 (平成22年度)	売上高	1,452,207	82,817	30,061	15,478	—	1,580,563 (1,113,240)	84,135	82,225	50,326
	営業利益	80,387	2,256	△ 52	1,463	81				

[売上高比率]



### 連結子会社数

71社

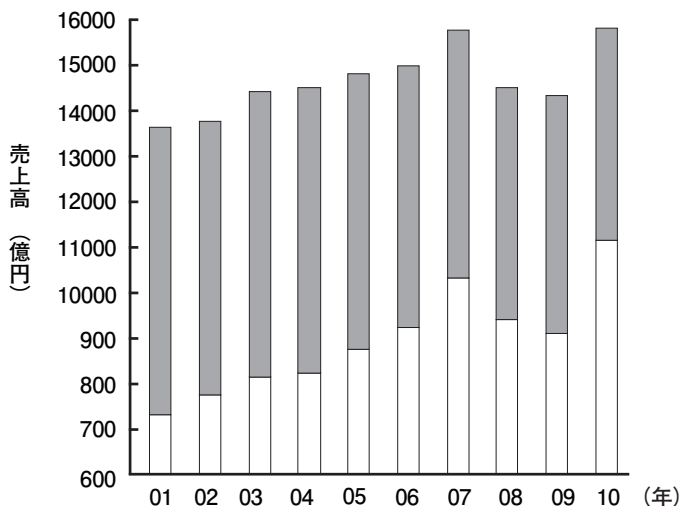
(株)イチタン、スバルファイナンス(株)、スバル興産(株)、輸送機工業(株)、富士機械(株)、東京スバル(株)、スバル オブ インディアナ オートモーティブインク、スバル オブ アメリカインク、米国富士重工業(株) 他 62 社)

### 持分法適用会社数

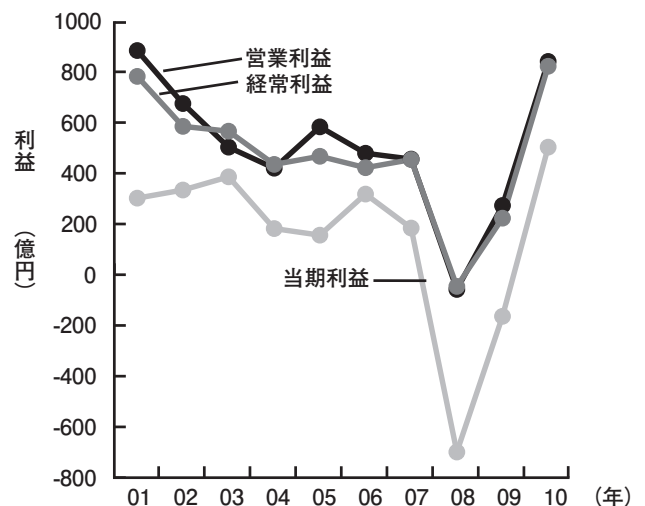
9社

(スバル オブ チャイナ LTD. 他 8 社)

[連結推移]



(注) □(白ヌキ)は海外を表す。

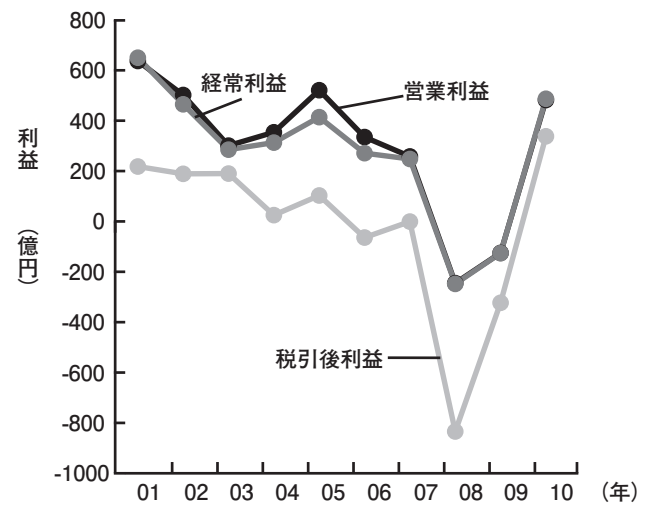
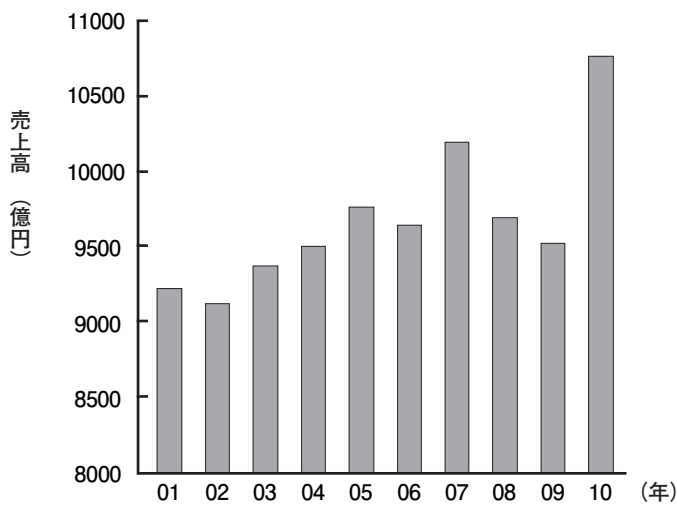


## 2. 単独売上高・利益の推移

(単位：百万円)

年度	項目	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	税引後利益 (百万円)	一株当り配当金 (円)
2001年(平成13年)度		921,709	63,698	65,015	21,846	9.0
2002年(平成14年)度		912,228	50,161	46,453	18,880	9.0
2003年(平成15年)度		936,911	30,143	28,496	19,012	9.0
2004年(平成16年)度		949,511	35,436	31,304	2,503	9.0
2005年(平成17年)度		976,143	52,123	41,379	10,274	9.0
2006年(平成18年)度		964,424	33,507	27,135	△6,391	9.0
2007年(平成19年)度		1,018,820	25,830	24,847	△58	9.0
2008年(平成20年)度		969,209	△24,546	△24,840	△83,404	4.5
2009年(平成21年)度		952,136	△12,522	△12,617	△32,315	0.0
2010年(平成22年)度		1,075,923	48,160	48,732	33,877	9.0

[単独推移]



## 3. 設備投資額・減価償却費・試験研究費の推移 (連結)

(単位：億円)

年度	項目	設備投資額	減価償却費	試験研究費
2006年(平成18年)度		596	589	507
2007年(平成19年)度		563	655	520
2008年(平成20年)度		580	651	428
2009年(平成21年)度		561	571	372
2010年(平成22年)度		431	498	429

## 4. 配当金について

(単位：円)

年度	項目	上期	下期	通期
2006年(平成18年)度		4.5	4.5	9
2007年(平成19年)度		4.5	4.5	9
2008年(平成20年)度		4.5	0	4.5
2009年(平成21年)度		0	0	0
2010年(平成22年)度		4.5	4.5	9

# 株 式

株 式 (2011年3月末日現在)

(1) 発行する株式総数 1,500,000,000 株 発行済株式総数 782,865,873 株

(2) 株式の所有者別状況

区 分	株式の状況 (1単元の株式数 1,000株)							単元未満 株式の状況
	政府および 地方公共団体	金融機関	証券会社	その他国内 法人	外国法人等 (うち個人)	個人、 その他	計	
株主数(人)	0	83	67	660	525 (23)	42,632	48,967	
所有株式数 (単元)	0	232,781	14,020	175,856	254,118 (48)	103,885	780,660	2,083,732 株
割合(%)	0.00	29.73	1.79	22.46	32.45 (0.00)	13.26	99.53	

(注)上記のほか、富士重工業は自己株式を 2,205,141 株 (0.28%) 所有しているが、当該株式には議決権がないため除外している。

(3) 大株主

氏名または名称	住 所	所有株式数	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合
ト ヨ タ 自 動 車 (株)	愛知県豊田市トヨタ町1番地	129,000,000 株	16.48%
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11-3	36,852,000 株	4.71
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	32,884,000 株	4.20
ス ス キ (株)	静岡県浜松市南区高塚町300	13,690,000 株	1.75
富士重工業取引先持株会	東京都新宿区西新宿1丁目7-2	12,397,000 株	1.58
(株)みずほコーポレート銀行	東京都千代田区丸の内1丁目3-3	12,361,739 株	1.58
(株)みずほ銀行	東京都千代田区内幸町1丁目1-5	12,017,170 株	1.54
(株)損害保険ジャパン	東京都新宿区西新宿1丁目26-1	11,716,490 株	1.50
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内1丁目6-6	11,191,211 株	1.43
東京海上日動火災保険(株)	東京都千代田区丸の内1丁目2-1	10,295,281 株	1.32
計		282,404,891 株	36.07

## 1. ブランドステートメント Confidence in Motion

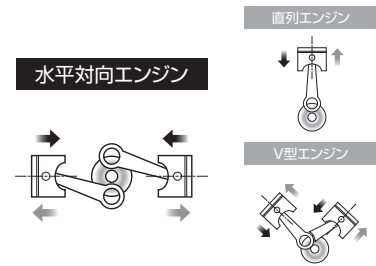


富士重工業は、2010年11月にスバルの世界統一ブランドステートメントとして「Confidence in Motion」を設定しました。「Confidence」は、スバルが貫いてきた「確かなクルマづくり」の姿勢と、「安心と愉しさ」をお約束し続けることにより築かれるお客様との信頼関係を表しています。「in Motion」には、積極的に時代の動きを捉えて「Confidence」を進化させ、お客様の期待に応じて革新を続けていく強い意思を込めています。スバルは、グローバルでの環境問題やモータリゼーションの成熟化などの大きな変化に対して、積極的に取り組んでいきます。また、クルマは単なる移動手段ではなく、「愉しさ」をもたらす存在であるべきだと考えます。スバルにとって、クルマの「愉しさ」を支えるのは「安心」であり、「安心と愉しさ」は決して切り離すことができないものです。今後、お客様のクルマに求める期待がますます多様化するなか、スバルはより自由な発想で時代を先取りし、クルマの本質を見失うことなく「安心と愉しさ」を進化させていきます。スバルは「Confidence in Motion」を通じてスバルならではの「クルマのある自由で楽しい生活」を提案し、自分らしい豊かな人生を求める、より多くのお客様の期待に応えるために、自らを革新し続けていきます。

## 2. スバルのコア技術

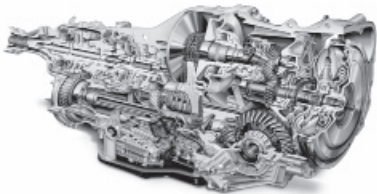
### ● 水平対向エンジン

SUBARUが理想のパワーユニットの一つとして提案し続けてきた、水平対向エンジン。ピストンが左右に水平に向き合う形で配置された水平対向エンジンは、ピストンの運動に伴って発生する慣性力を、対向するピストンが互いに打ち消し合う特性を持っています。このため、回転バランスに優れ、高回転域までなめらかに吹け上がるフィーリングを得ることができます。またエンジン全高が低く、軽量・コンパクトな特性により、車体の低重心化にも貢献。優れた重量バランスによって、意のままのコーナリングを可能にします。



水平対向エンジンは、直列エンジンやV型エンジンと異なり、クランク軸を中心に水平かつ左右対称に配置されたピストンが互いの振動を打ち消し合う。

### ● リニアトロニック (CVT)

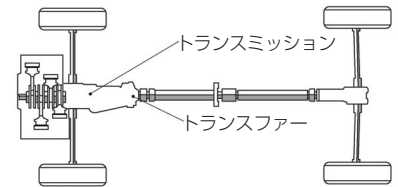


リニアトロニック (CVT) は量産 AWD 車世界初\*のチェーン式縦置 CVT です。CVT 最大のメリットは、エンジンの効率の良い回転領域を積極的に使えることにあります。リニアトロニックは、チェーン方式の利点であるコンパクト設計と効率的な動力伝達により、自然な走行フィーリングに加え、環境性能と動力性能を両立させました。

※ 当社調べ

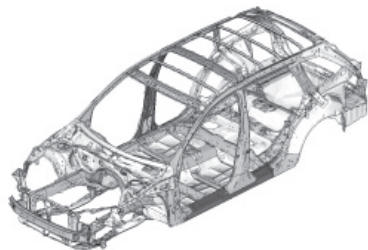
### ● SYMMETRICAL AWD

水平対向エンジンのもたらす低重心と、重量物を車体中心近くに集めることで実現する前後左右の優れた重量バランスが、AWD の能力を最大限に引き出し、さまざまな状況で卓越した走行性能を実現します。コーナリング時の、ステアリング操作に対するリニアな反応。高い直進安定性による、高速走行時の快適で安心できる走り。悪天候時での安定した挙動。日常走行から高速走行まで、ドライバーの信頼に足るメカニズムの「核」として、SUBARU は SYMMETRICAL AWD にこだわり続けます。



水平対向エンジン縦置き  
シメトリカル AWD レイアウト

### ● 新環状力骨構造ボディ



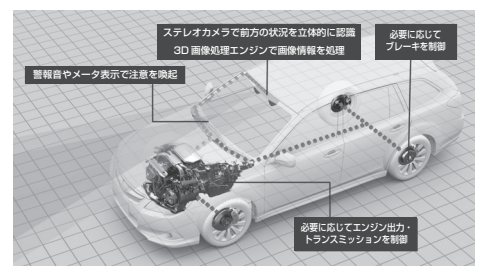
キャビンを強固なピラーやフレーム類で囲むように結合し、衝突によるキャビンの変形防止を目指した新環状力骨構造ボディ。前面衝突に対しては、衝撃吸収に優れたフレーム構造を採用し、各結合部の強化も図るなど効果的な衝撃吸収を可能としています。後面衝突に対してはリヤバンパービームによる強化に加え、リヤフレームをストレート化し、衝撃吸収に有効なクラッシュスペースを確保。後席乗員の衝突安全性に貢献します。さらに側面衝突では、センターピラーの強度バランスを最適化し、全方位で優れた衝突安全性を目指しています。

また、万一の衝突時の歩行者への衝撃軽減を目指し、フロントバンパーの衝撃吸収能力を高めるとともに、フロントフードの骨格を見直すなど、全面的な取り組みを行っています。

### ● 先進運転支援システム「EyeSight (Ver.2)」

EyeSight は、世界で初めてステレオカメラのみで、全車速追従クルーズコントロール機能や歩行者、自転車をも対象としたプリクラッシュセーフティ機能を実現したシステムです。

このシステムは、自動ブレーキによって車両を減速・停止させる「プリクラッシュブレーキ」で、前方衝突の回避または衝突被害の軽減を図るとともに、通常の追従走行に加えて先行車が停止した場合も、追従して停止制御する「全車速追従機能付クルーズコントロール」によって、ドライバーの安全運転を支援するとともに渋滞時などの運転負荷を軽減することで快適なドライブの実現に寄与するものです。



### 3. 商品展開

(2010年7月1日現在)

車名	写真	意味
レガシィ <b>LEGACY</b>		英語で「大いなる伝承物」の意。
レガシィ ビーフォー <b>LEGACY B4</b>		4WDロードスポーツのコアメカニズムである水平対向エンジン (BOXER) と4輪駆動システム (4WD) のそれぞれの頭文字の組み合わせ。
レガシィ アウトバック <b>LEGACY OUTBACK</b>		「奥地」、「未開の地」の意。
エクシーガ <b>EXIGA</b>		7人全ての乗員が開放的な室内で走りの楽しさを共有しながら、Exciting (刺激的な) で Active (活動的な、活発な) な時間を過ごして欲しいとの想いを込めた造語。
インプレッサ <b>IMPREZA</b>		「紋章」「金言」などの意味を持つ英語 “Impresa” からの造語。
インプレッサ アネシス <b>IMPREZA ANESIS</b>		ANESIS (アネシス) はギリシャ語で「安全」「快適」「信頼」「リラクゼーション」等の意。
インプレッサ XV <b>IMPREZA XV</b>		XV はクロスオーバーヴィークル (ジャンルの垣根を越えたクルマ) の意。
WRX STI <b>IMPREZA WRX STI</b>		スバルのモータースポーツ専門会社 STI (スバルテクニカインターナショナル) の名を冠した走りの頂点モデル。
フォレスター <b>FORESTER</b>		英語で「森に住む人」「森をはぐくむ人」の意。

車名	写真	意味
トレジア <b>TREZIA</b>		英語“Treasure”を語源にした造語。 「貴重で掛け替えのない体験の集まり」の意味。
デックス <b>DEX</b>		機敏さ、器用さなどの意味を持つ英語“Dexterity”からの造語。
ルクラ <b>LUCRA</b>		「Large」「Utility」「Comfort」「Relax」「Active」の頭文字を組み合わせた造語。親しみやすく、広々とした快適空間、使いやすさと洗練されたイメージを表現。
ステラ <b>STELLA</b>		イタリア語で「星」を表す言葉。使っていただくすべての方々にとって、光輝く存在となるようにとの思いを込めた。
プレオ <b>PLEO</b>		「さらに豊かに、そして完全に」という意味を持つラテン語からの造語。
ディアスワゴン <b>Dias Wagon</b>		スペイン語で「毎日、日々」の意。
サンバー <b>SAMBAR</b>		英語で「大鹿」の意。
トライベッカ <b>TRIBECA</b>		ニューヨークのマンハッタン、キャナル通り南側の地域で、最先端の流行を発信する街の名前に由来。

- (注) 1. デックスは、ダイハツからのOEM供給。(ダイハツ名：クー)  
2. ルクラは、ダイハツからのOEM供給。(ダイハツ名：タントエグゼ)  
3. プレオは、ダイハツからのOEM供給。(ダイハツ名：ミラ)  
4. ディアスワゴンは、ダイハツからのOEM供給。(ダイハツ名：アトレーワゴン)  
5. ステラは、ダイハツからのOEM供給。(ダイハツ名：ムーブ)  
6. 写真は、国内仕様モデル。(トライベッカは米国仕様モデル)

## 4. 生産実績の推移

### (1) 国内

(台)

年度		2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
区分											
軽自動車	乗用	77,237	58,470	61,406	70,868	52,586	77,980	64,523	51,512	41,827	27,385
	貨物	93,073	86,446	85,533	91,442	83,388	79,911	68,310	60,059	54,185	49,620
登録車	乗用	279,749	294,662	317,848	310,676	329,067	326,372	356,837	362,395	356,734	381,783
スバル計		450,059	439,578	464,787	472,986	465,041	484,119	489,670	473,966	452,746	458,788
サブ車		—	—	562	7,952	1,688	144	—	—	—	—
総合計		450,059	439,578	465,349	480,938	466,729	484,263	489,670	473,966	452,746	458,788

(注) 1. 軽自動車はボディベースにて計算。(輸出用 660cc 超エンジン搭載車も含む。)

2. 2010年度における生産能力は、2直操業・残業 1H/日・休日出勤 1日/月の前提で、軽自動車は 13,000台/月、登録車は 33,490台/月である。

### ・四輪駆動車の生産

(台)

年度		2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
区分											
軽自動車		80,022	65,326	67,100	73,828	64,747	71,151	57,189	51,430	48,040	42,860
登録車		265,586	283,474	306,164	303,219	310,206	306,513	335,014	341,715	340,042	368,266
計		345,608	348,800	373,264	377,047	374,953	377,664	392,203	393,145	388,082	411,126

(注) 軽自動車はボディベースにて計算。(輸出用 660cc 超エンジン搭載車も含む。)

### ・CVT生産

(基)

年度		2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
区分											
スバル		75,922	58,921	60,411	68,323	50,798	78,860	64,534	49,561	96,828	95,351
その他		71,655	23,957	9,280	4,480	—	1,516	18,563	76,926	140,473	49,475
総合計		147,577	82,878	69,691	72,803	50,798	80,376	83,097	126,487	237,301	144,826

(注) その他は、日産、FIAT、スズキ、ジヤトコへの供給の合計。

### (2) 海外

(台)

区分	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
米国(SIA)	100,365	102,194	88,881	114,556	121,505	103,415	110,979	83,239	104,364	164,773
台湾(大慶)	1,266	—	—	—	—	—	—	—	—	—
中国(貴州)	1,675	1,312	1,640	—	—	—	—	—	—	—
計	103,306	103,506	90,521	114,556	121,505	103,415	110,979	83,239	104,364	164,773

## 5. 国内販売台数の推移（連結）

(台)

年度		2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
区分	軽自動車	79,819	63,624	61,711	72,939	56,504	77,675	66,050	52,180	43,257	41,012
	貨物	86,738	85,366	81,620	89,945	84,216	79,875	69,993	59,660	54,104	51,725
登録車	乗用	109,423	102,294	114,775	109,603	105,650	87,937	87,196	77,353	80,542	72,637
	貨物	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—
輸入車		3,839	4,452	2,561	1,466	30	—	—	—	—	—
計		279,828	255,736	260,667	273,953	246,400	245,487	223,239	189,193	177,903	165,374

・四輪駆動車の国内登録の推移

(台)

年度		2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
区分	軽自動車	76,557	68,264	67,026	73,406	66,023	70,780	58,989	51,246	48,082	46,462
	登録車	99,203	93,063	105,031	97,959	91,547	72,927	71,535	60,349	63,357	55,969
	計	175,760	161,327	172,057	171,365	157,570	143,707	130,524	111,595	111,439	102,431

## 6. 海外販売台数の推移（連結）

(台)

年度		2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
区分	北米	207,013	210,088	205,787	210,423	209,946	206,523	210,347	207,113	249,856	307,018
	欧州	32,373	41,325	53,578	60,517	64,724	71,404	85,995	77,475	38,903	59,564
	その他	39,598	43,506	46,337	56,655	66,540	65,746	79,012	65,772	53,868	69,865
	中国						7,454	12,621	26,184	48,938	62,412
	計	278,984	294,919	305,702	327,595	341,210	351,127	387,975	376,544	391,565	498,859

※ 2001年度から2005年度までの中国販売台数はその他に含まれます。

## 7. 完成車と海外生産用部品の輸出

(台)

年度		2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
仕向先・区分	米 国	95,042	102,052	95,989	91,699	91,455	90,385	96,060	124,086	117,933	123,470
	欧 州	29,712	38,983	48,571	54,077	58,323	65,987	76,238	72,735	41,586	61,851
	そ の 他	48,325	54,885	56,278	66,726	74,945	83,351	101,405	103,592	120,201	145,376
	小 計 (内、軽自動車)	173,078 (22)	195,920 (0)	200,838 (0)	212,502 (0)	224,723 (16)	239,723 (395)	273,703 (579)	300,413 (111)	279,720 (96)	330,697 (70)
海外生産部品	米 国 (S I A)	100,946	106,076	87,358	115,317	119,784	100,972	110,363	77,871	113,605	163,469
	台 湾 (大 慶)	888	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	中 国 (貴 州)	2,400	1,500	2,800	—	—	—	—	—	—	—
	小 計 (内、軽自動車)	104,234 (2,400)	107,576 (1,500)	90,158 (2,800)	115,317 (0)	119,784 (0)	100,972 (0)	110,363 (0)	77,871 (0)	113,605 (0)	163,469 (0)
総 計 (内、軽自動車)		277,312 (2,422)	303,496 (1,500)	290,996 (2,800)	327,819 (0)	344,507 (16)	340,695 (395)	384,066 (579)	378,284 (111)	393,325 (96)	494,166 (70)

(注) 1. 米国、その他(カナダ)には、サブ車を含む

2. 軽自動車はボディベースにて計算。(660cc超エンジン搭載車も含む。)

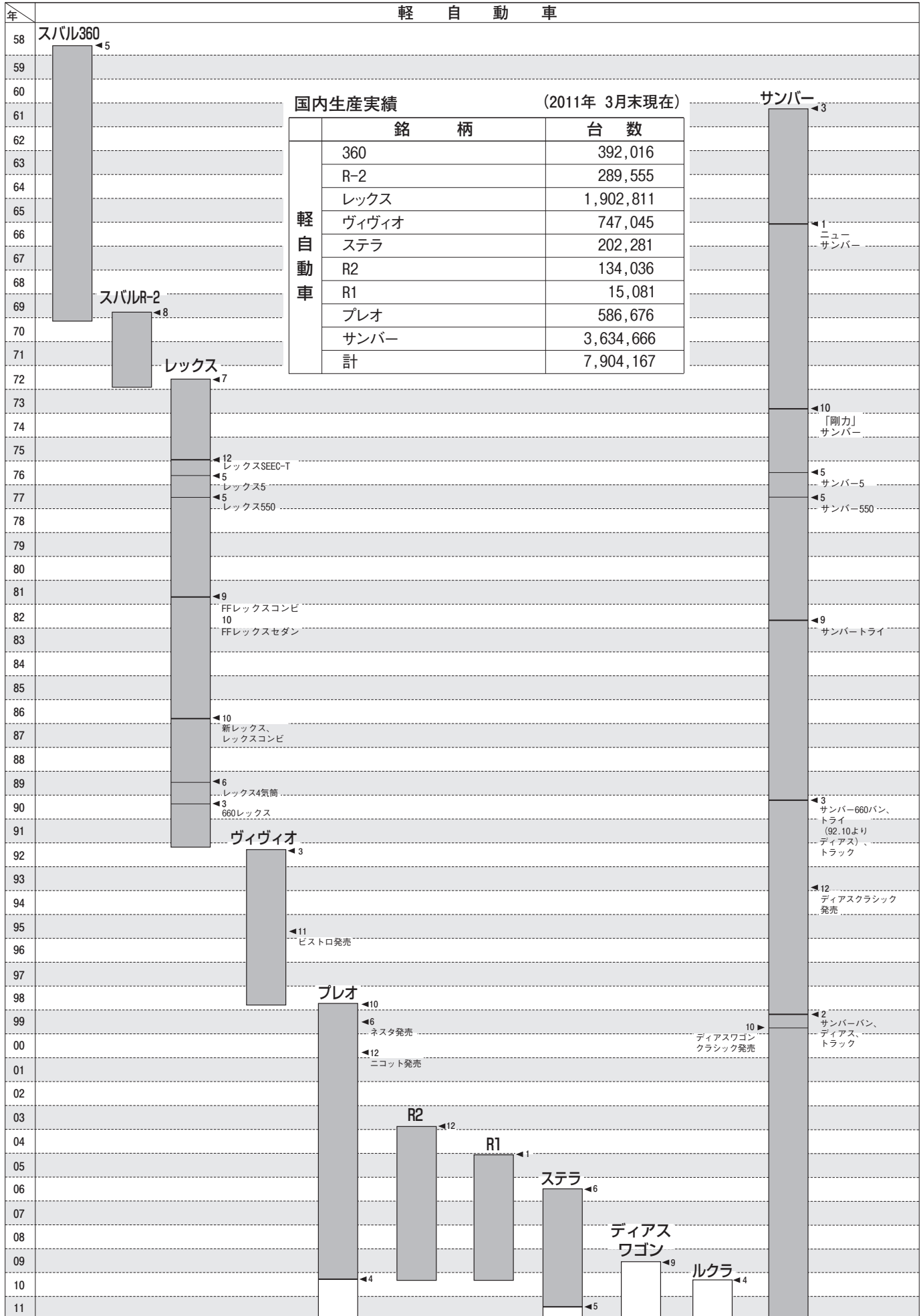
・四輪駆動車の輸出の推移

(台)

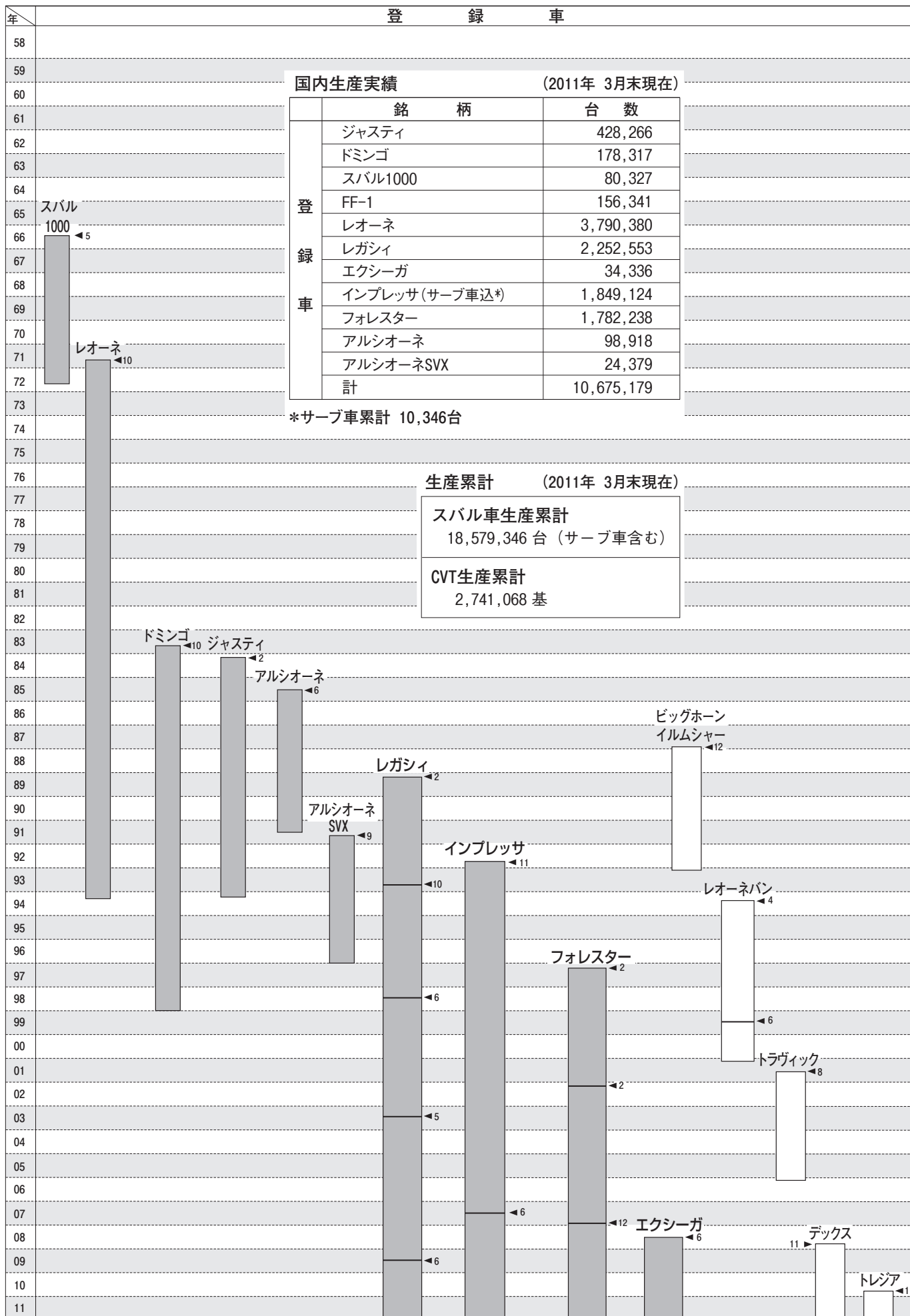
年度		2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
区分	輸 出	169,001	194,122	197,556	208,961	218,985	235,240	260,712	290,690	387,122	489,287

# 8. スバル車 国内車種展開の推移

(2011年 7月1日現在)



(注) 各車の帯中、太線はフルモデルチェンジを表わす。  
 (注) □ (白ヌキ) はOEMを表わす。



(注) 各車の帯中、太線はフルモデルチェンジを表わす。  
 (注) □(白ヌキ)はOEMを表わす。

9. 国内販売代理店一覧 (2011年7月1日現在)

全国スバル自動車販売協会特約店(44特約店)

エリア	特約店名	郵便番号	所在地	電話	代表者	新車拠点数
北海道 ・ 東北	釧路スバル自動車㈱	084-0904	釧路市新富士町 4-4-1	0154-51-0555	上原 博	1
	帯広スバル自動車㈱	080-0043	帯広市西 13 条北 1-1	0155-36-1251	石原 隆	2
	※ 北海道スバル㈱	063-0062	札幌市西区西町南 14-1-1	011-668-2111	飯山 勝久	21
	※ 青森スバル自動車㈱	030-0921	青森市原別 6-10-1	017-736-3121	手塚 淳一	6
	※ 岩手スバル自動車㈱	020-0125	盛岡市上堂 3-7-10	019-641-1313	柴内 祝三	9
	※ 秋田スバル自動車㈱	011-0901	秋田市寺内字三千刈 315-1	018-823-7111	石川 隆一	7
	※ 山形スバル㈱	990-2432	山形市荒橋町 2-1-88	023-624-1772	中村 勝雄	6
	※ 宮城スバル自動車㈱	983-0035	仙台市宮城野区日の出町 1-5-26	022-235-9113	福田 健	12
※ 福島スバル自動車㈱	963-8843	郡山市南一丁目 70	024-945-1341	飯田 登	10	
関東 ・ 甲信越 ・ 北陸	※ 新潟スバル自動車㈱	950-1182	新潟市西区山田 2307	025-266-9131	篠木 恒之	11
	南信スバル㈱	395-0003	飯田市上郷別府 1381-1	0265-21-1111	柴田 洋忠	1
	※ スバル信州㈱	380-0928	長野市若里 4-14-28	026-226-7771	中村 亜人	10
	※ 山梨スバル自動車㈱	400-0027	甲府市富士見 1-4-30	055-253-2813	木村 真	3
	富士スバル㈱	371-0023	前橋市本町 2-11-2	027-221-8111	斎藤 熙	19
	栃木スバル自動車㈱	320-0834	宇都宮市陽南 1-1-17	028-658-2134	小平 和正	12
	茨城スバル自動車㈱	310-0851	水戸市千波町 1984-1	029-241-1341	大槻 直樹	10
	埼玉スバル自動車㈱	338-8555	さいたま市中央区上落合 8-4-11	048-852-0131	吉澤 裕	18
	※ 神奈川スバル㈱	222-8571	横浜市港北区新横浜 1-18-1	045-478-3611	笠島 三千雄	24
	※ 千葉スバル自動車㈱	261-0002	千葉市美浜区新港 176-2	043-243-2261	横山 勝洋	21
※ 東京スバル㈱	113-8471	東京都文京区本郷 2-13-11	03-3816-8111	細谷 和男	32	
※ 北陸スバル自動車㈱	921-8539	金沢市泉本町 3-102	076-241-5121	坂本 和人	13	
中部 ・ 近畿	※ 静岡スバル自動車㈱	424-8503	静岡市清水区長崎南町 1-38	054-345-2131	今田 健次	13
	※ 名古屋スバル自動車㈱	462-0017	名古屋市北区落合町 175	052-901-8611	栗原 宏樹	19
	スバル東愛知販売㈱	440-8524	豊橋市下地町字境田 95-1	0532-54-6485	西川 康夫	3
	※ 岐阜スバル自動車㈱	500-8238	岐阜市細畑 1-7-15	058-245-4126	岩田 次郎	9
	※ 三重スバル自動車㈱	510-0064	四日市市新正 5-4-5	0593-53-2104	藤橋 進	7
	福井南スバル自動車㈱	914-0125	敦賀市若葉町 2-1759	0770-25-5050	木曾 千浩	1
	※ 京都スバル自動車㈱	601-8357	京都市南区吉祥院石原堂ノ後西町 5	075-671-1119	鈴木 直人	8
	※ 滋賀スバル自動車㈱	525-0059	草津市野路 4-7-2	077-562-1951	小林 篤	8
	奈良スバル自動車㈱	634-0837	橿原市曲川町 6-19-17	0744-22-1331	高木 謙	6
※ 大阪スバル㈱	570-0021	守口市八雲東町 1-21-23	06-6908-3131	羽田 眞	29	
※ 兵庫スバル自動車㈱	657-0845	神戸市灘区岩屋中町 2-2-7	078-861-8331	杉本 芳明	17	
中国 ・ 四国 ・ 九州	※ 山陰スバル㈱	689-3546	米子市熊党 330-3	0859-27-9030	神庭 吉男	9
	※ 岡山スバル自動車㈱	701-0144	岡山市北区久米 333-1	086-241-0815	杉山 智啓	7
	※ 広島スバル㈱	733-0012	広島市西区中広町 1-3-17	082-291-4355	山本 本山	8
	※ 山口スバル㈱	753-0871	山口市朝田 1049-1	083-922-2022	山本 訓司	10
	※ 東四国スバル㈱	760-0080	高松市木太町 2819	087-861-1621	緑川 雅之	10
	※ 四国スバル㈱	791-8036	松山市高岡町 463-1	089-972-0191	坂野 圭一	8
	※ 福岡スバル㈱	813-0044	福岡市東区千早 4-14-12	092-710-0111	榎本 一成	19
	※ 西九州スバル㈱	852-8053	長崎市葉山 1-28-15	095-857-1511	嶋田 元彦	11
	※ 熊本スバル自動車㈱	861-4106	熊本市南高江 1-2-30	096-358-3783	山形 賢一	8
	※ 大分スバル自動車㈱	870-1133	大分市宮崎 835-1	097-569-5396	中村 友一	5
※ 南九州スバル㈱	890-0056	鹿児島市下荒田 4-52-22	099-254-1192	徳地 武弘	12	
※ 新沖縄スバル㈱	901-2122	浦添市勢理客 4-19-7	098-877-1100	石田 優貴	3	
※連結子会社 (計 33 社)					合計	478

【統括会社体制概要】

	東北地区 スバルグループ	甲信越・北陸地区 スバルグループ	東海地区 スバルグループ	近畿地区 スバルグループ	中国・四国地区 スバルグループ	九州地区 スバルグループ
統括会社	宮城スバル自動車㈱	新潟スバル自動車㈱	名古屋スバル自動車㈱	大阪スバル㈱	広島スバル㈱	福岡スバル㈱
事業会社	青森スバル自動車㈱ 岩手スバル自動車㈱ 秋田スバル自動車㈱ 山形スバル㈱ 福島スバル自動車㈱	スバル信州㈱ 山梨スバル自動車㈱ 北陸スバル自動車㈱	岐阜スバル自動車㈱ 三重スバル自動車㈱	京都スバル自動車㈱ 滋賀スバル自動車㈱ 兵庫スバル自動車㈱	山陰スバル㈱ 岡山スバル自動車㈱ 山口スバル㈱ 東四国スバル㈱ 四国スバル㈱	西九州スバル㈱ 熊本スバル自動車㈱ 大分スバル自動車㈱ 南九州スバル㈱ 新沖縄スバル㈱

## 10. 海外市場の概況

### 地域別の主要仕向国および仕向国数

(2010年度輸出実績国)

地域	主な仕向国	仕向国計
アジア	中国、フィリピン、台湾	15
中東	イスラエル、オマーン、カザフスタン	11
ヨーロッパ	ロシア、ドイツ、スウェーデン	21
アフリカ	南アフリカ、エジプト、ケニア	7
北米	アメリカ、カナダ	2
中南米	チリ、ブラジル、ペルー	24
オセアニア	オーストラリア、ニュージーランド	6
計		86

### 海外主要市場および販売拠点数

(2010年12月末)

仕向国	インポーター/ナショナルディストリビューター	地域ディストリビューター数	ディーラー数
アメリカ	Subaru of America, Inc.	2	622
カナダ	Subaru Canada, Inc.	—	86
ドイツ	Subaru Deutschland GmbH	—	187
スイス	Subaru Schweiz AG	—	172
イギリス	Subaru (UK) Ltd.	—	76
ベネルクス	N.V. Subaru Benelux S.A.	—	48
ロシア	Subaru Motors (RUSSIA) LLC.	—	45
中国	Subaru of China, Ltd.	3	146
オーストラリア	Subaru Australia, Pty., LTD	—	102
チリ	Indumotora Automotriz S.A.	—	15

## 11. 米国生産拠点

### ★スバル オブ インディアナ オートモーティブ インク (Subaru of Indiana Automotive, Inc. 略称 SIA) の概要

(2011年7月1日現在)

所在地	5500 State Road 38 East. Lafayette, Indiana 47905 U.S.A.
設立年月日	1987年(昭和62年)3月17日
資本金	794百万ドル
役員	取締役執行社長 野村元清(富士重工業(株)執行役員) 取締役(非常勤) 吉永泰之(富士重工業(株)代表取締役社長) 取締役(非常勤) 近藤潤(富士重工業(株)代表取締役副社長) 取締役(非常勤) 日月文志(富士重工業(株)常務執行役員) 取締役(非常勤) 中村知美(富士重工業(株)執行役員)
従業員数	約3,600人(2011年3月現在)
工場用地面積	3,360,000m <sup>2</sup>
工場着工年月日	1987年3月31日(鋳入式は5月14日)
生産開始年月	1989年9月
生産車種	レガシィ、アウトバック、トライベッカ、トヨタカムリ(受託生産)
ホームページ	http://www.subaru-sia.com

# 航空宇宙カンパニー

## 航空機機体生産の推移

仕向	年度		2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
	製品区分											
防衛省向	小型機	T - 5 初等練習機	—	—	—	—	—	—	1	4	4	5
		T - 7 初等練習機	—	2	11	10	9	11	3	3	—	—
	ヘリコプター	A H - 6 4 D 戦闘ヘリコプター	—	—	—	—	2	2	2	2	1	1
		U H - 1 J 多用途ヘリコプター	4	7	6	3	6	2	3	4	5	6
		A H - 1 S 対戦車ヘリコプター	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無人機	B Q M 改 高速標的機	1	1	1	1	1	1	—	—	—	—
		航空機模擬標的	21	41	42	21	21	13	26	12	15	15
		遠隔操縦観測 システム	—	—	1	1	1	1	1	1	—	1
		無人偵察機 システム	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2
	分担生産	U S - 1 救難飛行艇	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—
		T - 4 中等練習機	9	7	—	—	—	—	—	—	—	—
		チャッカーⅢ 小型標的機	14	12	14	32	12	12	18	35	16	19
		U-125A 救難捜索機 (装備品取り付け、 納入前整備)	2	2	1	—	1	1	1	1	1	1
		F-2 支援戦闘機 (主翼*、尾翼*等)	9	13	10	10	6	4	4	5	5	1
		OH-1 小型観測 ヘリコプター (尾翼*、キャノピー等)	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2
		次期固定翼哨戒機 (XP-1)・輸送機 (XC-2) (主翼、 垂直尾翼*の開発)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他	航空機用 シミュレータ等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

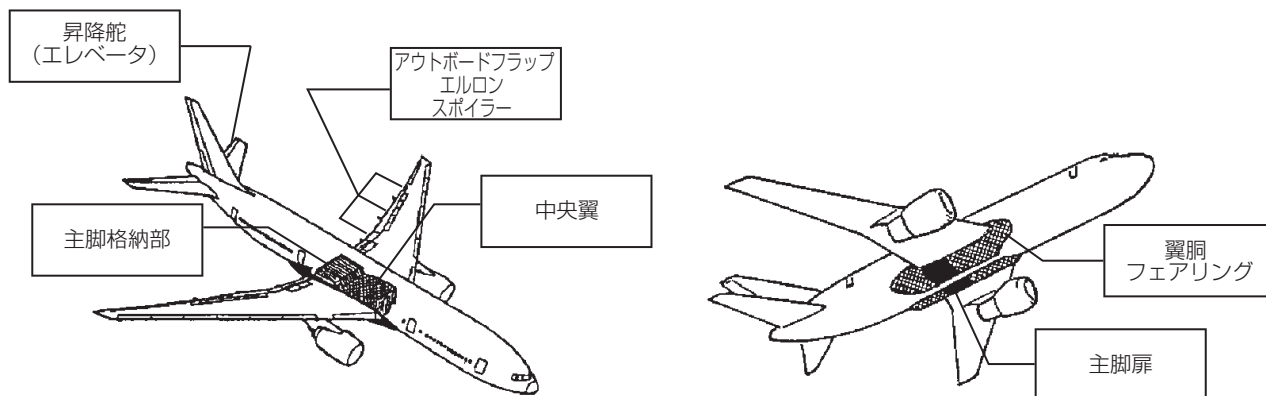
仕向	製品区分		年度										
			2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	
民間 生産 協力	無人機	R P H 2 無人ヘリコプター	5	2	3	—	—	—	—	—	—	—	
	分担	ボーイング777 (中央翼、主脚扉*、 翼胴フェアリング*)	60	35	39	41	50	74	82	68	82	63	
		ボーイング767 (翼胴フェアリング*、 主脚扉*)	41	30	12	11	10	13	12	10	12	15	
		ボーイング757 (アウトボードフラップ*)	38	18	12	4	—	—	—	—	—	—	
		ボーイング747 (エルロン*、 スポイラー)	27	22	18	12	14	14	18	12	—	—	
		ボーイング737 (エレベータ*)	273	183	165	144	207	318	351	282	375	372	
		H 4 0 0 0 (主翼構造および システム開発)	1	1	1	1	6	7	14	27	2	6	
		A 3 8 0 (垂直尾翼構造*)	—	—	—	9	8	6	12	12	11	27	
		ボーイング787 (中央翼*)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	その他	宇宙関連機器* 等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

( ) 内生産部分

※複合材料活用製品

複合材料……2種以上の素材を人為的に組み合わせて、もとの素材よりも優れた性質あるいは全く新しい性質を与える材料

1. ガラス繊維強化複合材料 (GFRP)
2. 炭素 (カーボン) 繊維強化複合材料 (CFRP)
3. アラミド繊維 (ケブラー) 強化複合材料 (KFRP)



# 産業機器カンパニー

## 1. 単体エンジン販売台数の推移

(台)

年 度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度		
販売台数計	681,094	795,742	809,081	957,096	1,111,869	1,066,768	1,136,135	983,476	724,993	970,791		
内 訳	仕向	国内	219,857	229,693	233,243	213,822	233,498	246,873	231,703	189,090	147,332	175,376
		輸出	461,237	566,049	575,838	743,274	878,371	819,895	904,432	794,386	577,661	795,415
	種類	ガソリン	671,166	786,265	798,464	948,077	1,099,972	1,053,873	1,121,144	969,713	718,838	961,199
		ディーゼル	9,928	9,477	10,617	9,019	11,897	12,895	14,991	13,763	6,155	9,592

## 2. エンジン生産台数の推移 (搭載用を含む)

(台)

年 度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度		
生産台数計	1,013,235	985,694	1,008,758	1,228,590	1,518,949	1,480,010	1,147,055	819,325	625,267	762,745		
内 訳	仕向	国内	359,809	361,831	315,338	337,422	452,672	448,088	191,527	156,014	114,271	131,614
		輸出	653,426	623,863	693,420	891,168	1,066,277	1,031,922	955,528	663,311	510,996	631,131
	種類	ガソリン	999,159	971,365	993,129	1,215,149	1,501,113	1,462,821	1,126,823	796,933	617,494	748,897
		ディーゼル	14,076	14,329	15,629	13,441	17,836	17,189	20,232	22,392	7,773	13,848

\* 2006年度までは富士ロビン (現マキタ沼津) 分を含んだ合計値

## 3. 商品展開 (2011年7月1日現在)

### (1) ロビンエンジン

(種類)

ガソリン	2サイクル	空冷(25cc~79cc) EC025~EC08
	4サイクル	空冷(25cc~720cc) ER12, EH025~EH72, EX13~EX40, EA19, EK13~EK28
ディーゼル	空冷4サイクル	(230cc~462cc) DY23~DY42, D1B20~D1B40
ケロシン(灯油)	空冷4サイクル	(143cc~388cc) EY15DK~EY40DK

(用途)

農・林・漁業 機 械	・トラクター ・バインダー(結束機) ・除草機 ・ハーベスタ(刈取り機) ・田植機 ・耕耘機 ・運搬車 ・刈払機 ・管理機 ・動力噴霧機 ・揚水ポンプ ・木材キャリアー
土木・建設・ 産 業 機 械	大型 ・コンプレッサー
	小型 ・ミニバックホー ・振動ローラー ・コンパクター ・ランマー ・コンクリートカッター ・コンクリートパイプレータール ・溶接機
	産業 機械 ・エンジンジェネレーター ・ポータブルコンプレッサー ・構内運搬作業車 ・高圧洗浄機 ・トラッシュポンプ ・スーパードライヤー ・エアコンプレッサー ・投光機
レジャー その 他 機 械	・スノーモービル ・バギーカー ・ゴルフカー ・ゴーカート ・ポケットバイク ・芝刈り機 ・除雪機

### (2) 完成品 (エンジン搭載機器)

- ・エンジンジェネレーター (900W ~ 14kW) ・エンジンポンプ (口径 1 インチ ~ 4 インチ)
- ・スノーモービル ・エンジン式刈払機 ・投光機

#### 4. ロビン製品広域特約店

特約店名	郵便番号	所在地	電話	代表者
富士重工産機販売(株)東京支店	104-0042	中央区入船 1-1-21	03-3552-0546	松本博史
富士重工産機販売(株)名古屋支店	454-0912	名古屋市市中川区野田 1-472	052-363-8900	清水好美
富士重工産機販売(株)大阪支店	661-0021	尼崎市名神町 3-15-8	06-6429-1905	堀江真吉
北富士産業機械(株)	005-0030	札幌市南区南 30 条西 8-4-1	011-582-1191	杉本典満
興立産業(株)	983-0034	仙台市宮城野区扇町 4-6-16	022-235-9311	相澤美智雄
ユアサ商事(株)	103-8570	中央区日本橋大伝馬町 13-10	03-3665-6571	佐藤悦郎
日本車輛製造(株)	456-8691	名古屋市熱田区三本松町 1 番 1 号	052-882-3316	中川彰
丸三開発工機(株)	930-8603	富山市上飯野 32	076-451-3511	大愛恒雄
宝物産(株)	733-8603	広島市西区商工センター 5 丁目 3-2	082-278-0041	檜山邦雄
マコト産業(株)	811-0104	福岡県糟屋郡新宮町の野 741-1	092-962-5855	麻生誠
愛知ポンプ(株)	810-0072	福岡市中央区長浜 2 丁目 3-40	092-781-4928	緒方健一

# エコテクノロジーカンパニー

## 1. 主要製品生産の推移

製品区分		年度									
		2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
フジマイティ		1,407	1,626	1,896	1,383	1,480	1,551	1,641	1,433	1,162	1,022
パワーローダ		39	46	95	52	43	52	41	33	20	22
スイーパ		86	62	64	72	37	9	2	1	—	—
モートルック		334	289	235	186	210	184	242	187	85	144
風力発電	40kW	—	3	4	0	2	4	1	—	1	—
	100kW	—	—	0	0	3	—	—	—	—	—
	2MW	—	—	—	—	—	—	1	3	31	21

## 2. 商品展開 (2011年7月1日現在)

フジマイティ	不燃物収集車、一般ゴミ収集車、粗大ゴミ収集車、電動式塵芥収集車、再資源回収車、大型中継車、塵芥収集車専用ボディ計量システム
モートルック	バッテリー式、ガソリン式構内運搬車
特装車	脱着ボディ車（パワーローダ）、各種廃棄物コンテナ
風力発電	スバル風力発電システム 2MW
清掃機器	ビル清掃ロボットシステム、ゴミ計量システム、オゾン脱臭洗浄装置
搬送機器	連結式搬送ロボットシステム

### 3. 全国富士特車会特約店

ブロック	特約店名	郵便番号	所在地	電話	代表者
北海道	北富士産業機械(株)	005-0030	札幌市南区南30条西8-4-1	011-582-1191	杉本典満
	釧路スバル自動車(株)	084-0904	釧路市新富士町4-4-10	0154-51-0555	上原博
	帯広スバル自動車(株)	080-0043	帯広市西13条北1-1	0155-36-1251	石原隆
	北海道スバル(株)	063-0062	札幌市西区西町南14-1-1	011-668-2111	飯山勝久
	〃 北見西店	090-0836	北見市三輪696-5	0157-36-3660	〃
東北	(有)東奥ディーゼル	030-0151	青森市大字高田字日野167-8	017-739-1556	小笠原浩悦
	北日本建機工業(株)	020-0401	盛岡市手代森5-19-8	019-696-2400	大橋義光
	〃 秋田営業所	010-0941	秋田市川尻町大川反233-12	018-862-8773	〃
	(株)庄交コーポレーション	997-0031	鶴岡市錦町2-60	0235-22-3033	早坂剛
	〃 庄交サービス事業部	997-0031	鶴岡市錦町4-35	0235-24-4471	五十嵐丈保
	興立産業(株)	983-0034	仙台市宮城野区扇町4-6-16	022-235-9311	相澤美智雄
	〃 総合整備センター	984-0001	仙台市若林区鶴代町5-50	022-283-2091	〃
フジ特車(株)福島支店	963-0551	郡山市喜久田町字松ケ作16-151	024-959-3669	荒井直人	
関東 甲信越	〃 本社	331-0814	さいたま市北区東大成町2-563-10	048-653-5845	〃
	〃 群馬支店	379-2106	前橋市荒子町359-4	027-230-3370	〃
	陽南自動車(株)	320-0833	宇都宮市不動前4-1-14	028-634-6331	中村太三郎
	茨城特殊車輛(株)	319-1102	那珂郡東海村大字石神内宿2478-9	029-282-1438	檜垣隆一
	大和商工(株)	142-0063	品川区荏原1-4-1	03-3783-9131	寺内一夫
	〃 東部営業所	125-0035	葛飾区南水元4-11-8	03-3600-3381	〃
	〃 千葉営業所	264-0031	千葉市若葉区愛生町60-7	043-284-1261	〃
	〃 神奈川営業所	254-0012	平塚市大神上枝82-1	046-228-1771	〃
	横浜スバル自動車(株)	235-0016	横浜市磯子区磯子3-4-31	045-751-2261	稲津一郎
	〃 環境機器部港北工場	224-0044	横浜市都筑区川向町字北耕地1025 <small>(原付修理北工場)</small>	045-475-1115	〃
	(株)サカイ総合自動車	950-0806	新潟市東区海老が瀬45-1	025-275-4145	坂井俊一
	(株)日商	380-0935	長野市中御所4-6-12	026-226-6643	清水省吾
(株)オートメカニク信州	390-0851	松本市島内高松1315-2	0263-47-9000	清沢美治子	
静岡スバル自動車(株)	424-8503	静岡市清水区長崎南町1-38	0543-45-2136	今田健次	
中部 北陸	バン自動車(株)	460-0012	名古屋市中区千代田1-8-10	052-262-6581	坂満夫
	〃 サービス	457-0071	名古屋市南区千電通5-18	052-824-6510	〃
	丸三開発工機(株)	930-0827	富山市上飯野32	076-451-3513	大愛恒雄
	北陸環機(株)	920-0334	金沢市桂町イ8-1	076-268-2886	能戸鐵也
	(株)千代田組北陸支店	920-0918	金沢市尾山町3-11 三井生命ビル内	076-261-4136	上田光雄
近畿	京都スバル自動車(株)	601-8357	京都市南区吉祥院石原堂ノ後西町5	075-671-1111	鈴木直人
	〃 環境車両部	601-8357	京都市南区吉祥院石原堂ノ後西町5	075-671-1118	〃
	(株)オヨド	531-0076	大阪市北区大淀中3-8-2	06-6458-0191	仲西友厚
	富士重工業(株)関西営業所	661-0966	尼崎市西川1-1-24	06-6493-8672	四谷正
	〃 サービス・部品	661-0966	尼崎市西川1-1-24	06-6493-8458	〃
ラビット和歌山(株)	640-8404	和歌山市湊1418-1	073-423-3266	岡野郷	
中国	わこう商会(株)	701-0145	岡山市北区今保192-5	086-246-2318	向井常明
	中国自動車工業(株)	730-0826	広島市中区南吉島2-3-54	082-246-7577	岩本浩
	山口スバル(株)	753-0871	山口市朝田1049-1	0839-22-2022	山本訓司
四国	交和自動車(株)	761-8081	高松市成合町763-3	087-867-5710	田所基
	〃 松山出張所	791-8044	松山市西垣生町779-4	089-974-8035	〃
九州 沖縄	福岡スバル(株)	812-0008	福岡市博多区東光1-6-8	092-710-0111	榎本一成
	〃 産業機械事業部	812-0068	福岡市東区社領2-16-22	092-612-6143	〃
	浜崎商工(株)	851-0126	長崎市芒塚町555	0958-38-2233	濱崎純裕
	玉里産機(株)	891-0131	鹿児島市谷山港2-5-2	099-261-9111	松元隆志
	沖縄ユアサ電池販売(株)	901-2134	浦添市港川2-23-6	0988-77-1355	神村絹枝

# 沿革

## 1. 前史

### (1) 中島飛行機時代

西暦	月	
1917.	5	中島知久平、群馬県尾島町に飛行機研究所を創設。
	(大正6年)	
	12	飛行機研究所を群馬県太田町に移転。
1918.	4	中島飛行機製作所と改称。
1919.	2	四型6号機(中島の出世機)試飛行大成功。
	4	陸軍から中島式五型複葉機20機初受注(初の日本人設計の量産機となる)。
	10	四型6号機、東京-大阪間第1回懸賞郵便飛行競技に出場、往復6時間58分で優勝。
	12	野球チーム「雄飛倶楽部」結成。
1922.	3	日本初の準金属製機、中島式B-6型「軽銀号」を上野の平和記念東京博覧会に出展、金牌受賞。
1925.	11	東京工場完成、発動機生産開始。
1930.	6	日本初の国産空冷星型9気筒「寿」型試作発動機完成。
	(昭和5年)	
1931.	12	中島飛行機株式会社と改称。資本金600万円。社長 中島喜代一。
1934.	11	太田新工場完成、旧太田工場は「呑竜工場」と改称。
	11	天皇陛下、太田工場ご訪問。
1936.	9	純国産中型高速旅客機AT-2型初飛行に成功。
1937.	-	(海軍)九七式艦上攻撃機、(陸軍)九七式戦闘機制式採用。
1938.	4	武蔵野製作所開設、陸軍発動機生産開始。
	11	増資により資本金5,000万円となる。
1939.	4	中島知久平、政友会第8代総裁に就任。
	-	「栄」発動機制式採用。
1940.	4	小泉製作所開設、海軍機体生産開始。
1941.	2	太田飛行場開設。
	11	多摩製作所開設、海軍発動機専用工場となる。
	12	三鷹研究所起工式挙行。
	-	百式重爆撃機「呑竜」、一式戦闘機「隼」制式採用。
1942.	6	半田製作所開設、海軍機体生産開始。
	11	中島知久平、6発爆撃機「Z機」の基礎計画を策定。
	-	(陸軍)二式戦闘機「鍾馗」、(海軍)二式陸上偵察機、二式水上戦闘機制式採用。
1943.	3	大宮製作所開設、海軍発動機生産開始。
	4	三島製作所開設、海軍機器生産開始。
	11	武蔵野、多摩製作所を統合し、武蔵製作所とし、陸海軍発動機生産を一元化。
	-	艦上攻撃機「天山」、夜間戦闘機「月光」制式採用。
1944.	1	宇都宮製作所開設、陸軍機体生産開始。
	-	艦上攻撃機「彩雲」、四式戦闘機「疾風」、「誉」発動機制式採用。4発陸上攻撃機「連山」試作完成。
1945.	4	「航空機事業国営に関する件」が閣議決定され、中島飛行機は国家管理の「第一軍需工廠」となり、中島喜代一が長官に任命される。
		設立時の規模は、工場数102(疎開工場を含めると500)、敷地3,531万㎡、建物232.3万㎡、機械30,735台、人員25万名。
	-	(陸軍)キ87高々度戦闘機、特殊攻撃機「剣」、(海軍)特殊攻撃機「橘花」(ジェット機)試作完成。
	8月15日	日本、無条件降伏(第2次世界大戦終結)
	8月17日	第一軍需工廠長官に対し、軍需大臣から生産停止命令下る。

### (2) 富士産業時代

西暦	月	
1945.	8	(17日)中島飛行機(株)を富士産業株式会社と改称、定款を改定し平和産業への転換を図る。
	8	中島乙未平が取締役社長に就任。
1946.	6	ラビットスクーター1号車誕生。
	6	大宮工場、船外機エンジン生産開始。
	7	野村清臣が取締役社長に就任。
	12	宇都宮工場、戦災車両の復旧1号車完成。
	12	バス1号車完成。
	-	各工場は次の製品の製造許可を連合軍軍政部に申し出、許可される。
		太田工場(1月) 電機部品、小型モーター、電熱器
		三鷹工場(1月) 占領軍の食器類、トラック部品
		三鷹工場(3月) スクーター
		三島工場(3月) 度量衡器、農機具、時計、小型発動機、バリカン
		宇都宮工場(5月) 鉄道車両
		浜松工場(6月) ミシン、タイプライター、計算機、乳母車
		太田工場(7月) スクーター
		半田工場(10月) 木造船、客車電車修理
		前橋工場(11月) 農機具、トラクター、農耕機
		小泉工場(12月) バスポディ
1948.	7	東京富士産業(株)を設立。
1949.	8	国産初のフレームレス・リヤエンジンバス「ふじ号」完成。
	10	(29日)中島知久平死去。
1950.	-	企業再建整備法による第二会社12社が7、8月から発足。
		富士工業(株)、富士精密工業(株)、愛知富士産業(株)、富士自動車工業(株)、大宮富士工業(株)、宇都宮車輛(株)、岩手富士産業(株)、富士機械工業(株)、富士機器(株)、田沼木材工業(株)、(株)富田機器製作所、東京富士産業(株)

### (3) 企業再建整備法による第二会社時代

西暦	月	
1950.	7	(12日)富士自動車工業(株)設立。
	7	(13日)富士工業(株)設立。
	7	(20日)宇都宮車輛(株)設立。
	8	(7日)大宮富士工業(株)設立。
	12	バスポディ、生産1,000台突破。
1951.	2	汎用エンジンM6型生産開始。
	7	国鉄木製車の鋼体化生産に着手、この年50両納入(以後1955年までに302両納入)。
1952.	5	ラビット消防ポンプ生産開始。
1953.	4	スクーター、月産2,000台達成。
	4	軽三輪貨物車ダイナスター発売。
	8	宇都宮公共飛行場の業務開始。
	11	メンターT-34初等練習機の輸入機組立開始。
1954.	2	四輪乗用車P-1(1500cc、45馬力)の試作完成、1955年に「すばる」と命名。
	8	戦後初のジェットエンジンJO-1完成。
	-	P-1用エンジンL4試作完成。

## 2. 富士重工業株式会社

企…企業関連  
自…スバル自動車部門  
航…航空宇宙カンパニー  
産…産業機器カンパニー  
エ…エコテクノロジーカンパニー

ラ…ラビット（スクーター）  
バ…バス事業部  
ハ…ハウス事業部  
車…車両事業部

主要事項・スバル自動車部門	西 暦	部門別主要事項
企：富士重工業株式会社設立。資本金 5,000 万円、代表取締役社長、北謙治。本社、東京都新宿区角筈二丁目 73 番地。	1953年(S28) 7月15日  9月  11月	航：米・ビーチエアクラフト社と B-45(メンター T-34) 初等訓練機に関し、技術援助契約調印。 航：メンター T-34 初等練習機の輸入機組立開始。
企：社内募集により社章制定。 企：本社、千代田区丸の内二丁目 18 番地、内外ビルに移転。	1954年(S29) 4月 5月	
企：資本出資 5 社を吸収合併し、資本金 8 億 3,050 万円となる。  企：国鉄から自動車メーカーとして正式指定を受ける。	1955年(S30) 2月 4月 6月 7月 10月	バ：チリ国営交通営団から大型ディーゼルバス 300 台受注。  航：米・セスナ社と L-19 連絡機に関し技術援助契約調印。 ラ：ラビットジュニア (125cc) 発売。 航：メンター T-34 練習機国産 1 号機初飛行に成功。 車：軌道モーターカー TMC100A 形生産開始。
企：吉田孝雄専務取締役が代表取締役社長に就任。	1956年(S31) 5月  6月 7月 8月	産：ロビンエンジン KD11 型発表。 ラ：トルコン付ラビットスーパーフロー量産開始。 バ：日本初のエアサスペンションバス完成、国鉄に納入。 航：防衛庁のジェット中間練習機(T-1) 試作受注開始。
	1957年(S32) 9月	ラ：ラビットスーパーフロー (250cc) 発売。
自：軽四輪乗用車スバル 360 発表 (5 月 1 日発売、価格 42 万 5,000 円)。 自：全国スバル自動車販売協会発足。	1958年(S33) 1月 3月3日 12月	航：T1F2 ジェット中間練習機、国産試作 1 号機初飛行に成功。
企：倍額増資により資本金 16 億 6,100 万円となる。	1959年(S34) 2月 10月 12月	産：ロビンエンジン EC51A 型、KB11 型発売。 航：KM 機、世界高度新記録 (9,917m) 樹立。
企：株式、東京証券取引所に上場。  企：富士商工㈱を合併、資本金 18 億 8,600 万円となる。 自：群馬製作所本工場開設。	1960年(S35) 2月 3月 6月  7月 9月 10月	産：ロビントラクター T4 型発売。 航：米・ベル社と HU-1B / 204B ヘリコプター生産に関する技術援助契約調印。 バ：ワンマンバス開発。 車：ディーゼル特急「はつかり」(キハ 80 形)1 号車完成。
自：スバルサンバートラック発売。 企：増資により資本金 33 億円となる。	1961年(S36) 2月 4月 5月 11月	産：ロビンエンジン EY21 型生産開始。 航：当社が尾翼と主翼桁の分担生産をした YS-11 中型輸送機試作完成。
企：増資により資本金 49 億 5,000 万円となる。	1962年(S37) 3月 12月	工：米・ガーウッド社と技術提携のロードパッカー (LP-101) 完成。
企：横田信夫 (元日本電信電話公社副総裁) が代表取締役社長就任。 自：スバル月産 5,000 台達成。 企：創立 10 周年を記念し、社章制定。 自：スバル 360 カスタム発売。  企：社内募集により社章制定 (増田祐三作詩、團伊玖磨作曲)。	1963年(S38) 5月  7月 8月 10月 12月	航：富士ベル HU-1B タービンヘリコプター完成、防衛庁に納入。 車：日本通運㈱向、高速道路用セミトレーラ完成。
自：第 2 回グランプリレースの T-1 クラスで、スバル 360 が 1 位、2 位独占。  企：米・テナント社と共同出資の関係会社、富士テナント㈱発足。  自：群馬製作所のテストコース完成。	1964年(S39) 5月  8月 10月  11月	工：スイーパー T42 型発売。 車：西独：カールケスボーラー社とトレーラーの技術提携調印。 車：日本初の 25t 積カーボンブラック専用ホッパー貨車生産。
企：製品別事業部制採用 (自動車事業部、機械事業部、車両バス事業部、航空機事業部) 自：小型乗用車スバル 1000 発表。 自：スバル、月販 1 万台突破。	1965年(S40) 2月 4月 8月 10月  12月	車：日本初の国鉄向特殊気動車 (電気作業車) 完成。 工：テナントスイーパーのノックダウン開始。 航：戦後初の国産軽飛行機 FA-200、試験飛行成功。
企：株式額面 500 円を 50 円に変更。 企：本社、新築のスバルビルに移転。 企：株式、東京、大阪、名古屋証券取引所に上場。 自：スバル 1000 4 ドアセダン発売。 企：倍額増資と 1 億円の公募により資本金 100 億円となる。  企：いすゞ自動車㈱と業務提携調印。	1966年(S41) 1月  3月 5月14日 9月 10月 12月	航：FA-200 の愛称「エアロスバル」に決定。

主要事項・スバル自動車部門	西 暦	部門別主要事項
<p>自：スバル 1000 の保証期間延長、2 年間または 5 万kmとなる。          企：社債 30 億円を募集。          企：スバル 360、台湾への KD 輸出開始。          自：スバル 1000 スポーツ発売。          企：当社、㈱小松製作所、富士ロビン㈱が業務提携、富士ロビン㈱は富士小松ロビン㈱と改称。</p>	<p>1967年(S42)            3月            8月            10月            11月            12月</p>	<p>航：VTOL 垂直離着陸実験機 FTB 完成、航空宇宙技術研究所に納入。</p>
<p>企：SOA (スバル オブ アメリカ) 設立。          企：当社、三井物産㈱、三井造船㈱が米・ストリック社とコンテナに関し、技術提携(1967 年 6 月)後、合併販社日本ストリック㈱設立。          企：いすゞ自動車㈱との業務提携解消。</p> <p>自：第 10 回日本アルペンラリーでスバル 1000 スポーツがクラス優勝。          企：日産自動車㈱と業務提携調印。          自：スバル 360 ヤング S、同 SS 発売。</p>	<p>1968年(S43)            2月            5月            6月            6月29日            7月            9月            10月            11月            12月</p>	<p>産：ロビンエンジン EY18 型発表。          ラ：ラビットスクーター生産打切、太田北工場で最終車ラインオフ。          車：20 フィートアルミ製海上コンテナ量産開始。          産：スノーモビル用ロビンエンジン、米・ボラリス社に輸出開始。</p> <p>工：モートラック E103 型発売(丸ハンドル車)。</p>
<p>自：矢島工場稼働開始。          自：スバル FF-1 シリーズ発売。          自：スバル FF-1、米国向輸出開始。          自：スバル R-2 発売。          企：日本初の集中自動管理無人化高層倉庫方式のスバル部品センター完成。</p> <p>企：日産サニークーペの受託生産開始。</p>	<p>1969年(S44)            1月            2月            3月            7月            8月            10月            11月            12月</p>	<p>バ：国鉄東名ハイウェイバス 1 号車納入。</p> <p>車：15t バン型セミトレーラ、14t アオリ式セミトレーラ開発、発表。</p> <p>航：米・ライオン社と高速無人標的機 BQM-34A(ファイアービー)に関し技術援助契約調印。</p>
<p>企：横田信夫社長が取締役会長、大原栄一副社長が代表取締役社長に就任。          自：スバル FF-1 1300G および 1100 シリーズ発売。          自：第 12 回日本アルペンラリーで初出場のスバル FF-1 1300G がクラス優勝。          自：軽自動車、生産 100 万台達成。          企：車両バス事業部を分離し、車両事業部とバス事業部新設。</p>	<p>1970年(S45)            2月            5月            7月            9月            10月</p>	<p>産：ロビンエンジン生産累計 100 万台突破。          航：FA-200 エアロスバル、西独に初輸出(2 機)。</p> <p>ハ：オフィストレーラ完成。          航：XMH 型固定翼タービンヘリコプター試験機完成。</p>
<p>自：スバルレオーネクーペ発売。          自：スバル 1300G 4WD バン第 18 回東京モーターショーに出品。</p>	<p>1971年(S46)            1月            7月            10月</p>	<p>ハ：ユニットハウス完成(3 月発売)。          産：米・ウィスコンシン社とロビンエンジンの輸出契約締結。          ハ：オフィストレーラ TR-1 発売。</p>
<p>自：レオーネ 4 ドアセダン発売。          企：大卒女子採用開始。</p> <p>自：レックス発売。</p> <p>自：レオーネ 4WD エステートバン発売。          企：富士重工関連労働組合連合会(富士労連)結成。</p>	<p>1972年(S47)            2月            4月            7月            9月            10月</p>	<p>航：ベル社と 204B-2(HU-1H) タービンヘリコプターに関し、技術援助契約調印。          工：世界最大の産業用清掃車テナントスーパースーパー(T86E)の国産化完成。          産：ロビンエンジン KD 型発売以来、205 万台、1,000 万馬力達成。</p>
<p>自：レオーネハードトップ発売</p> <p>企：転換社債 45 億円発行。          自：レックス 4 サイクル車発売。</p>	<p>1973年(S48)            4月            6月            7月            9月            10月            12月</p>	<p>工：塵芥収集車フジマイティー専用工場完成。</p> <p>航：HU-1H 多用途ヘリコプター 1 号機初飛行成功。</p> <p>航：ボーイング 747SP ラダー、100 機分受注。</p>
<p>自：レオーネ排出ガス対策車、触媒なしで米・環境保護庁 '75 年排出ガス公式認定試験合格。          自：第 16 回日本アルペンラリーでレオーネ RX 総合優勝。</p>	<p>1974年(S49)            3月            6月            7月            9月            10月</p>	<p>車：東海道新幹線の架線張替用専用作業車開発。          航：米・ロックウエル社と双発ビジネス機の生産・販売に関する共同事業契約調印。</p> <p>航：KM-2B(T-3) 単発ピストン初等練習機完成。</p>
<p>企：50 年度排出ガス規制に対応する SEEC-T システム発表。          自：レオーネ 4WD セダンおよび AT 車発売。          自：スバル、生産 200 万台達成。</p> <p>企：「母と子の夏休み乗り物教室」を群馬製作所と大泉飛行場で開催(以降毎年開催)。          自：51 年度排出ガス規制適合車レオーネ SEEC-T 発売。</p> <p>自：軽初の 51 年度排出ガス規制適合車、レックス SEEC-T 発売。</p>	<p>1975年(S50)            1月            3月            5月            7月            10月            11月            12月</p>	<p>産：ロビンジェネレーター RG シリーズ輸出開始。          ハ：連棟式ユニットハウス発売。          車：新交通システム KRT、沖縄国際海洋博覧会に納入、実用化に成功。</p> <p>航：ロックウエル社と共同開発の FA-300、初飛行に成功。</p>

主要事項・スバル自動車部門	西 暦	部門別主要事項
<p>企：当社、SOA(スバル オブ アメリカ)の筆頭株主となる。</p> <p>自：軽枠拡大車スバルレックス5、スバルサンバー5発売。</p> <p>企：男子(管理職を除く)の定年を60才に延長。</p> <p>企：初の外貨建て社債3,000万ドイツマルク(約36億円)発行。</p>	<p>1976年(S51)</p> <p>1月</p> <p>3月</p> <p>5月</p> <p>9月</p> <p>11月</p>	<p>バ：特殊バス(採血車、レントゲン車、婦人検診車、移動販売車)の一貫生産開始。</p> <p>工：センターレス方式の粗大ゴミ収集車、LP650発売。</p>
<p>自：新型レオーネ、53年度排出ガス規制適合車、業界に先駆けて発売。</p> <p>自：レックス550(53年度排出ガス規制適合車)、サンバー550発売。</p> <p>企：2,000万株の時価発行。</p> <p>自：SOA、スバルプラット発売。</p>	<p>1977年(S52)</p> <p>4月</p> <p>5月</p> <p>9月</p> <p>10月</p> <p>11月</p>	<p>航：FA-300(700型)、運輸省航空局型式証明取得(9月には米連邦航空局の型式証明取得)。</p> <p>バ：タイ・サイアムモータース社とKDバス組立技術援助契約締結。</p>
<p>自：スバル小型エンジン、生産累計100万台達成。</p> <p>企：大原栄一社長が代表取締役会長、佐々木定道取締役(当時日産自動車(株)副社長)が代表取締役社長に就任。</p>	<p>1978年(S53)</p> <p>2月</p> <p>5月</p> <p>9月</p> <p>10月</p> <p>11月</p>	<p>車：自動昇降式ピッチャーマウンド、1,200ℓ吸水車、265型スーパーなど横浜スタジアムに納入。</p> <p>航：ボーイング社と767、777(YX)の事業契約(当社分担は主翼フェアリングおよび主脚ドア)。</p> <p>工：全油圧方式産業用清掃機、スーパー266型国産化完成。</p>
<p>自：ザ・ニューレオーネセダン発売。</p> <p>自：ザ・ニューレオーネハードトップ発売。</p> <p>自：軽キャブバン初のサンバーハイルーフ発売。(55年排ガス適合車)</p> <p>企：外貨建て転換社債6,000万スイスフラン(約90億円)発行。</p>	<p>1979年(S54)</p> <p>3月</p> <p>4月</p> <p>6月</p> <p>7月</p> <p>10月</p> <p>11月</p> <p>12月</p>	<p>車：後楽園球場の投手交代用リリーフカーにモトラック登場。</p> <p>航：AH-1S対戦車ヘリコプター、KD1号機納入。</p> <p>産：女子のみによる小型4サイクル・ロビンエンジン組立ライン稼働。</p> <p>車：北海道向特急気動車「おおぞら」(キハ183形)納入。</p> <p>航：ロックウェル社とのFA-300双発ビジネス機共同開発契約解除。</p> <p>航：RPV無人偵察機研究受注契約調印。</p>
<p>自：レオーネ、第28回サファリラリー初出場でクラス優勝。</p> <p>自：サンバー4WD発売。</p>	<p>1980年(S55)</p> <p>4月</p> <p>11月</p> <p>12月</p>	<p>車：成田空港ジャンボ機用給油専用車納入。</p>
<p>自：レオーネ4WD ツーリングワゴン発売。</p> <p>自：FFレックスコンピ発売。</p> <p>自：FFレックスセダン発売。</p> <p>自：レオーネ4WD・AT車発売。(世界初のMP-T方式)</p> <p>企：第8回社会人野球日本選手権大会で優勝。</p>	<p>1981年(S56)</p> <p>2月</p> <p>5月</p> <p>7月</p> <p>9月</p> <p>10月</p> <p>11月</p> <p>12月</p>	<p>産：ロビンエンジンEY15型、EY20型発売。</p> <p>産：ロビンジェネレーターLGシリーズ発売。</p> <p>航：MTX次期中等ジェット練習機の開発、主契約者に川崎重工業(株)、開発協力者に三菱重工業(株)、当社が決定。</p> <p>車：ステンレス電車9000型、東武鉄道(株)に納入。</p> <p>バ：日本初の3軸大型観光バス開発、モーターショーに出展。</p>
<p>自：オランダ・VDT社とCVT(無段変速機)に関する共同開発契約調印。</p> <p>企：無担保転換社債100億円発行。</p> <p>自：業界で初めて通販会社ディノスと提携。</p> <p>自：新型サンパートライ、ハイトラシリーズ発売。</p> <p>自：レオーネ4WDターボAT、4WD・RXシリーズ発売。</p> <p>自：レオーネ、生産累計100万台達成式典挙行。</p> <p>自：日産自動車(株)受託車、生産100万台達成式典挙行。</p>	<p>1982年(S57)</p> <p>2月</p> <p>4月</p> <p>5月</p> <p>7月</p> <p>8月</p> <p>9月</p> <p>10月</p> <p>12月</p>	<p>車：LE-Car発売。</p> <p>バ：バスボディ、キュービック化のフルモデルチェンジ実施。</p> <p>航：AH-1S対戦車ヘリコプターへの主契約者に決定。ベル社とAH-1Sに関し技術援助契約調印。</p> <p>バ：バスボディ、生産累計5万台達成。</p>
<p>企：3000万株の時価発行。</p> <p>自：大泉工場開設、本格稼働。</p> <p>自：第31回サファリラリーでレオーネ4WDがグループA優勝。初の総合5位入賞。</p> <p>自：スバル、生産500万台達成。</p> <p>自：ドミンゴ発売。</p>	<p>1983年(S58)</p> <p>2月</p> <p>3月</p> <p>5月</p> <p>7月</p> <p>8月</p> <p>10月</p> <p>11月</p>	<p>バ：科学万博つくば'85の観客輸送用連節バス受注(100台)。</p> <p>航：防衛庁向無人標的機ターゲット・ドローンの開発担当当社に決定。</p> <p>バ：日本初の2階建てバス試作完成、モーターショーに出展(日産ディーゼル工業(株)と共同開発)。</p> <p>車：第三セクター、三陸鉄道(株)向気動車、7両納入。</p>
<p>自：スバルECVT(世界初の電子制御電磁クラッチ式無段変速機)開発発表。</p> <p>自：スバルジャスティ発売。</p> <p>自：オールニューレオーネ発売。</p>	<p>1984年(S59)</p> <p>2月</p> <p>3月</p> <p>5月</p> <p>6月</p> <p>7月</p> <p>8月</p> <p>12月</p>	<p>航：当社、三菱重工業(株)、川崎重工業(株)の3社、ボーイング社とYXXの国際共同開発に関し、了解覚書締結。</p> <p>バ：連節バス1号車完成、公開。</p> <p>航：当社開発のKM2D型ターボプロップ機、初飛行に成功。</p> <p>航：オランダ・フォッカー社と民間旅客機、フォッカー50の尾翼の一部の製造契約締結。</p> <p>車：LE-Carを名古屋鉄道(株)と樽見鉄道(株)に納入。</p> <p>航：AH-1S国産1号機納入。</p>

主要事項・スバル自動車部門	西 暦	部門別主要事項
<p>自：スペシャルティカー、スバル XT、米国で発売。</p> <p>企：大原栄一会長が名誉会長。佐々木定道社長が代表取締役会長、田島敏弘副社長が代表取締役社長に就任。</p> <p>自：アルシオーネ発売。</p> <p>企：5000万米ドル（約119億円）の転換社債発行。</p> <p>自：スバルデザインセンター完成。</p> <p>自：ジャスティ 1.2ℓ 4WD シリーズ発売。</p> <p>自：レオーネ 3 ドアクーペ発売。</p>	<p>1985年(S60)</p> <p>2月</p> <p>3月</p> <p>6月</p> <p>7月</p> <p>10月</p> <p>11月</p>	<p>バ：連節バス 100 台が、つくば'85 で活躍。</p> <p>産：ロビンエンジン累計生産 1000 万台達成。</p>
<p>自：スバルの輸出基地「東扇島物流センター」（神奈川県川崎市）が完成。</p> <p>自：レオーネ 3 ドアクーペ RX / II（フルタイム 4WD）発売。</p> <p>企：いすゞ自動車㈱と、合併による米国現地生産の基本協定に調印。</p> <p>自：ドミンゴ 1.2ℓ 4WD 発売。</p> <p>企：日産自動車㈱の受託生産車最終号引渡式を挙げる。</p> <p>自：日本初のワンボックス・フルタイム 4WD、スバルドミンゴ GX 発売。</p> <p>企：米国に、「スバル・リサーチ・アンド・デザイン社」を設立。</p> <p>企：富士重工研修センターを東京都八王子市に新設。</p> <p>自：レオーネシリーズを改良。同時にセンターデフ式フルタイム 4WD のレオーネセダン、ツーリングワゴンを追加発売。</p> <p>企：台湾に台湾偉士伯との合併会社「大慶汽車工業股份有限公司」設立。</p> <p>自：新レックスコンピ発売。</p> <p>自：新レックスセダン発売。</p>	<p>1986年(S61)</p> <p>2月</p> <p>4月</p> <p>5月</p> <p>6月</p> <p>7月</p> <p>8月</p> <p>9月</p> <p>10月</p> <p>11月</p> <p>12月</p>	<p>航：FA-200 エアロスバル 300 号達成記念式典挙行。</p> <p>産：ロビンエンジン、米国芝刈機市場に本格進出。</p> <p>ハ：完全折りたたみ式コンテナハウス“伸び太郎”発売。</p> <p>産：スバル除雪機「とおりゃんせ」発売。</p> <p>ハ：拡張型折りたたみハウス“ミスターワイド”発売。</p>
<p>自：世界初の電子制御・無段変速システム搭載ジャスティ ECVT 発売。</p> <p>自：レックス 5 ドアセダンツインピスコフルタイム 4WD 発売。</p> <p>企：米国に「SUBARU-ISUZU AUTOMOTIVE INC.」設立。（略称：SIA）</p> <p>自：スバル研究実験センター起工式挙行。</p> <p>自：レックス ECVT 発売。アルシオーネ VX(2.7ℓ、電子制御フルタイム 4WD) 発売。</p> <p>企：米国パデュー大学にいすゞ自動車㈱と SIA 奨学基金設立。</p> <p>自：新型電子制御電動モーター式パワーステアリングシステム実用化に成功</p> <p>企：個人輸入代行会社スバルワールドトレーディング㈱設立。</p> <p>自：サンバーシリーズを改良。フルタイム 4WD を展開。</p> <p>自：レオーネシリーズを改良。アクティブ・トルク・スプリット 4WD を展開。</p> <p>自：ジャスコ㈱と軽自動車の販売提携。</p>	<p>1987年(S62)</p> <p>2月</p> <p>3月</p> <p>5月</p> <p>6月</p> <p>7月</p> <p>8月</p> <p>9月</p> <p>10月</p> <p>11月</p> <p>12月</p>	<p>航：ボーイング 747 のエルロン、スポイラー初号機完成。</p> <p>車：国鉄向け最後の新型気動車 6 形式 77 両の納入完了。</p> <p>車：車軸伸縮式カートレアラ開発。</p> <p>ハ：ボルボ社と新型観光バス共同生産決定。</p> <p>航：米・マクダネルダグラス社から MD-11 用アウトボードエルロン受注。</p> <p>産：ロビンエンジンに空冷ディーゼル 2 機種追加発売。</p> <p>バ：スウェーデン、ボルボ社と共同開発の新型観光バス「アステローペ」発売。</p> <p>ハ：事務所タイプ組立式ハウス「フジミニハウス CF」シリーズ発売。</p> <p>航：無人ジェット標的機「ターゲット・ドローン」の量産担当社に決定。</p> <p>車：JR北海道旅客鉄道㈱と設計・製作協力したデラックスリゾート特急車両「トママ・サハロエクスプレス」完成。</p>
<p>自：イタリア、モトリー・モデルニ社との水平対向 12 気筒エンジンの共同開発発表。</p> <p>企：愛知県半田市に工場用地取得。</p> <p>自：ドミンゴシリーズを改良、1.2ℓ 4WD 全車種にフリーランニング式フルタイム 4WD 展開。</p> <p>自：レックスシリーズにスーパーチャージャー搭載「V」「VX」発売。</p> <p>企：中古車販売会社スバル中古車販売㈱設立。</p> <p>自：フリーダイヤルスバルホットライン開設。(0120-052215)</p> <p>企：スウェーデン・ボルボ社とボルボ車の国内販売提携。</p> <p>企：21 世紀残日表示大時計を本社ビル屋上に設置。</p> <p>企：大宮第 2 スバルビル完成。</p> <p>自：サンバーシリーズを改良。3バルブエンジンを 4WD 車に展開。</p> <p>自：イタリア・フィアット社と「スバル ECVT システム」供給契約締結。</p> <p>自：OEM 車スバルビッグホーンイルムシャー発売。</p>	<p>1988年(S63)</p> <p>1月</p> <p>2月</p> <p>3月</p> <p>4月</p> <p>5月</p> <p>6月</p> <p>8月</p> <p>9月</p> <p>12月</p>	<p>産：スバル小型ディーゼル発電機「防音タイプ」発売。</p> <p>産：韓国、大興機械工業㈱と汎用エンジン加工設備の輸出契約締結。</p> <p>車：宮福鉄道㈱に LE-Car6 両納入。納入総数 100 両を突破（総計 101 両）。</p> <p>工：シェラトン・グランデ・トーキョー・ベイホテルに、ごみ収集輸送装置納入。</p> <p>航：KM-2 改型練習機初飛行に成功。</p> <p>航：海上保安庁にベル式 212 型新製機 JA9684 1 機納入。</p> <p>車：JR 北海道旅客鉄道㈱に碍子洗浄車 1 両納入。</p> <p>航：双発ビジネス機「FA-300」1 機を（財）航空科学振興財団に寄贈。</p> <p>航：KM-2 改納入式開催。</p> <p>ハ：ユニットハウス「CAK-J 型」発売。</p>
<p>企：R&amp;D 会社「㈱スバル研究所」設立。</p>	<p>1989年(S64)</p> <p>1月</p>	

主要事項・スバル自動車部門	西 暦	部門別主要事項
<p>自：「スバル ECVT システム」イタリア・フィアット社に供給開始。</p> <p>自：レガシィ、米国アリゾナ州で「10万km連続走行・世界速度記録」に挑戦。新記録＝平均速度 223.345km/h を樹立。</p> <p>自：レガシィシリーズ発売。</p> <p>自：レガシィの「10万km連続走行・世界速度記録」FIA(国際自動車連盟)公認記録に認定。</p> <p>自：ジャスティ ECVT シリーズ米国での販売開始。</p> <p>自：三鷹製作所と群馬製作所を統合。</p> <p>自：自動車デザインの研究開発拠点「デザイン東京スタジオ」完成。</p> <p>自：レガシィシリーズ米国での販売開始</p> <p>自：台湾現地生産拠点「大慶汽車工業股份有限公司」生産開始。</p> <p>自：レックスシリーズを改良。新開発の直列 4 気筒エンジン「クローバー 4」を搭載。</p> <p>企：現地販売会社「スバル カナダ インク」設立。</p> <p>自：世界初、多層構造樹脂製燃料タンクの量産化に成功。</p> <p>自：90 年 WRC (世界ラリー選手権) にレガシィで参戦を表明。</p> <p>自：レガシィシリーズの欧州での販売開始。</p> <p>自：SIA で生産開始</p> <p>自：中部地区において新車の保管・整備を行う「中部配車センター」(岐阜県土岐市)完成。</p> <p>自：先行技術開発拠点「スバル研究実験センター」に高速周回路が完成。</p> <p>自：レガシィ「RStyle RA」発売。</p>	<p>1989年(H元年)</p> <p>1月</p> <p>2月</p> <p>3月</p> <p>4月</p> <p>5月</p> <p>6月</p> <p>7月</p> <p>9月</p> <p>10月</p> <p>11月</p> <p>12月</p>	<p>航：ボーイング 757 旅客機用外方フラップを受注。</p> <p>車：JR 四国に世界初の「振り式特急ディーゼルカー」3 両納入。</p> <p>車：LE-Car の営業キロ総延長 500km突破。</p> <p>航：KM-2 改の機体呼称を T-5 へ改称。</p> <p>車：東京・大田市場に「モトトラック」「サンラック」「スバルサンパートラック」など計 122 台納入。</p> <p>産：インドネシアダイナミカ社と汎用エンジンに関する技術援助契約締結。</p> <p>航：航空機用新素材、複合材構造等の研究開発施設「技術研究棟」完成。</p> <p>車：JR 北海道旅客鉄道(株)、東日本旅客鉄道(株)両社にブルートレイン「北斗星」13 両納入。</p> <p>車：JR 東海に納入した特急ディーゼルカー「キハ 85 系」通産省選定「G マーク商品」に選ばれる。</p> <p>航：205B ヘリコプターの型式証明を米連邦航空局より取得。</p>
<p>自：「スバルテクニカルセンター大阪」を開設。</p> <p>自：軽自動車の 550cc から 660cc への規格改定に伴い、サンパーシリーズをフルモデルチェンジ、レックスシリーズを改良。</p> <p>自：水平対向 12 気筒スバル M.M エンジンをイタリアのコローニチームに供給、アメリカン・グランプリで F-1 デビュー。</p> <p>自：SIA 製レガシィを台湾に出荷販売開始。</p> <p>自：第 38 回サファリラリーでレガシィ RS4WD、WRC デビュー、同ラリー史上初のグループ N 優勝(総合 8 位)、総合 6 位入賞。</p> <p>自：レガシィ 4 ドアセタンをいすゞ自動車(株)に OEM 供給開始。</p> <p>企：田島敏弘社長が代表取締役会長、川合勇(元日産ディーゼル工業(株)社長)が代表取締役社長就任。</p> <p>自：スバルコローニレーシング sr.1 ヘスバル M.M エンジンの供給停止。</p> <p>自：全国スバル特約店にカーエアコン用フロンガス回収、再利用装置の設備開始。</p> <p>企：米国販売力強化の一環として現地販売会社「スバル オブ アメリカ」(略称：SOA)を 100% 子会社化。</p>	<p>1990年(H2)</p> <p>3月</p> <p>4月</p> <p>5月</p> <p>6月</p> <p>7月</p> <p>8月</p> <p>11月</p>	<p>工：塵芥収集車「フジマイティ」生産累計 3 万台突破。</p> <p>車：北近畿タンゴ鉄道(株)にパノラマ特急車両「タンゴ・エクスプローラー」3 両、軽快気動車 4 両納入。</p> <p>航：205B ヘリコプターの国内耐空証明を運輸省航空局より取得。</p> <p>バ：ハイデッカボディ MAXION 発売。</p> <p>工：塵芥収集車「フジマイティ」新型(8 型)発売。</p> <p>車：振り式特急ディーゼルカー量産 35 両完納。</p>
<p>自：日産バルサーの受託生産を決定。(5 月、生産開始)</p> <p>自：「スバルテクニカルセンター仙台」を開設。</p> <p>自：「スバル ECVT」生産累計 30 万台達成。</p> <p>企：SOA の販売金融子会社「スバル アクセプトランス コーポレーション(略称 SAC)」業務開始。</p> <p>自：レガシィ月販新記録達成、初めて全国 1 万台を突破(10,557 台)。</p> <p>自：3 ナンバー・スペシャルティクーペ「アルシオーネ SVX」発売。</p> <p>企：(株)FOD に大宮製作所用地の一部を売却。</p> <p>自：「スバル ECVT システム」日産自動車に供給開始。</p>	<p>1991年(H3)</p> <p>1月</p> <p>2月</p> <p>5月</p> <p>6月</p> <p>7月</p> <p>9月</p> <p>10月</p> <p>11月</p> <p>12月</p>	<p>航：仏・アエロスペース社よりカーボン・カーボン技術を導入。</p> <p>航：ボーイング 777 型大型旅客機共同開発調印。</p> <p>バ：大型観光バス「アステロペ・スベリオール」を発売開始(排ガス N<sub>2</sub> 規制クリア)。</p> <p>産：ロビン・ハイブリッドシステムを開発。</p> <p>工：自律走行方式の電動床面清掃ロボットを開発。</p> <p>ハ：大和工商リースから折りたたみハウスの受託生産開始。</p>
<p>自：ニュービッグホーン「ハンドリング・バイ・ロータス」発売。</p> <p>自：ヴィヴィオ新発売。</p> <p>自：4WD 車生産累計 300 万台を達成。</p> <p>企：川合社長、在東京サイプラス共和国(キプロス)名誉総領事に就任。</p> <p>企：川合社長、航空宇宙工業会会長に就任。</p> <p>自：塗装済バンパーのリサイクル部品を使用し、実生産を開始。</p> <p>自：スバル車生産累計 1,000 万台を達成。</p> <p>企：村田発條と共同出資で複合材部品生産会社「エーシーエム栃木(株)」を設立。</p> <p>企：中期経営計画発表。</p> <p>自：「スバルテクニカルセンター広島」を開設。</p> <p>企：中国・貴州航空工業総公司と軽乗用車国産化の技術供与契約に調印。</p> <p>自：タイ国へ完成車輸出を開始。</p> <p>自：インプレッサシリーズ発売。</p> <p>自：サンパーディアスシリーズのエンジン部品・インテークマニホールドが「プラスチック大賞」を受賞。</p>	<p>1992年(H4)</p> <p>2月</p> <p>3月</p> <p>4月</p> <p>5月</p> <p>6月</p> <p>7月</p> <p>8月</p> <p>10月</p> <p>11月</p> <p>12月</p>	<p>車：JR 東日本向気動車(キハ 100、110)76 両を完納。</p> <p>工：スイーパー「FUJI-HITER」シリーズを発売(ドイツ・ハコ社の OEM)。</p> <p>航：宇都宮第二工場 41 棟竣工、ボーイング 777 生産開始。</p> <p>工：清掃ロボットを JR 東日本へ納入。</p> <p>産：スバルジェネレータ SGV シリーズ(OHV エンジン搭載)を発売。</p> <p>車：JR 北海道へ振り式特急ディーゼルカー試作 1 両納入。</p> <p>航：半田工場稼働開始。</p>

主要事項・スバル自動車部門	西 暦	部門別主要事項
<p>企：全国運転代行事業協会と運転代行専用車両を開発。          企：「地球環境保護に関する取り組み計画」を策定。          自：ヴィヴィオ、WRC・サファリラーに初挑戦。史上初の完走、クラス優勝・準優勝を獲得。          企：サンバーの電気自動車を開発、「第8回低公害フェア」に出展。          自：3ウェイコンバーチブル「スバルT-TOP」3千台限定発売。</p> <p>自：レガシィ、ニュージーランドラリーでWRC初優勝。          自：NEWレガシィ世界最速ワゴン記録達成。1km区間 = 249.981km/H(FIA、ACCUS公認)          自：NEWレガシィシリーズを発売。</p> <p>企：ロビン・アメリカ設立。          自：サンバー「ディアス・クラシック」を発売。</p>	<p>1993年(H5)          1月          3月          4月          5月          7月          8月          9月          10月          11月          12月</p>	<p>航：B767、500号機納入達成。</p> <p>航：B777中央翼、初号機納入。</p> <p>工：高層ビル用ごみ分別搬送システム「ヒュー・ストーン」の実証プラントを武蔵野社宅内に完成。運用試験を開始。          産：(株)マキタ向けに刈払い機の供給開始。</p>
<p>自：インプレッサに「STiバージョン」を設定。          自：EJ系エンジン生産累計100万台達成。</p> <p>自：ジャスティの国内向け生産打ち切り。          自：日産自動車よりADバンOEM供給を受け、新型レオーネバンとして発売。          自：「ロール圧延法」による自動車用塗装バンパーの新しい塗膜剥離技術を開発。</p> <p>自：サンバーの生産を桐生工業㈱から本工場へ集約。          企：ロビンマニュファクチャリングUSAを設立。          自：レガシィシリーズに2.5ℓ「250T」を追加。          自：インプレッサ「WRXtype RA STi」を発売。          企：日本信販と提携し「スバルカード」を導入。          自：スバル、初めて年間を通じてWRC全戦参加。          マニュファクチャラーズ・タイトル2位(カルロス・サインツ)を獲得(共に過去最高位)。</p>	<p>1994年(H6)          1月          2月          3月          4月          5月          9月          10月          11月          12月</p>	<p>産：ロビンエンジンEH30型、EH34型が米国加州大気資源局(CARB)の排気基準値をクリア、認証を得る。          産：ポラリス向エンジン生産累計100万台達成。          産：ポラリス製パーソナルウォータークラフトを発売。</p> <p>産：伊・ユーロシステム社製草刈機の輸入を開始。</p> <p>産：低公害CNGバスを東京都、横浜市、川崎市へ納入。</p>
<p>企：阪神大震災被災地に対する支援として、コンテナハウスと発動発電機を神戸市へ提供。          企：北海道中川郡美深町にて北海道試験場(テストコース)起工式を実施。          自：2ドアクーペインプレッサ「リトナ」発売。          企：シンガポール富士重工業を設立。</p> <p>自：ヴィヴィオバンに3速AT車を発売。</p> <p>自：初の電気自動車「サンバーEV」発売。          自：軽乗用車(含ボンネットバン)生産累計300万台達成。          自：新塗膜保護技術を開発。本格的に導入を開始。          自：レガシィ「グラッドワゴン」発売。          自：マジヤール・スズキ製ジャスティを欧州市場に導入。          企：埼玉製作所の研究・開発棟完成、同製作所への移転完了。          企：大宮製作所の移転に伴い、大宮地区を「大宮事業所」と名称変更。          自：インプレッサスポーツワゴン「グラベルEX」を発売。          自：ヴィヴィオ「ピストロ」発売。          自：スバル、WRCにおいてマニュファクチャラーズ・タイトルとドライバーズ・タイトル(コリン・マクレー)を獲得。</p>	<p>1995年(H7)          1月          2月          3月          4月          6月          8月          9月          10月          11月          12月</p>	<p>産：埼玉製作所工場棟竣工。4月より稼働開始。          航：救難捜索機U-125A初号機を航空自衛隊に納入。          航：T-5用フライトシミュレータを海上自衛隊に納入。          産：ロビンマニュファクチャリングUSA生産開始。</p> <p>工：ゴミ収集管理の効率化を目的とした「フジマイティーコンテナ計量システム」発売。</p> <p>工：川崎市にゴミ輸送用コンテナとコンテナ輸送車両を納入。同市で10月よりゴミの貨物輸送を全国で初めて実施。          車：JR北海道に振り式特急気動車(キハ283形)を開発納入。</p> <p>工：フジマイティーにイオン電着を用いた高品位塗装導入。          航：富士ベル205B型ヘリコプター運輸省航空局の型式証明を取得。</p>
<p>自：「ロール圧延法」を実用化し、バンパーからバンパーへのリサイクルを開始。          自：福祉車両サンバー「トランスケア」発売。          企：大宮製作所跡地の一部を大宮市土地開発公社及び住都公団へ売却。          自：航空宇宙技術を応用したモータースポーツ用品を発売。          企：独自のシステムで市場からのバンパー回収を開始。</p> <p>企：環境システム事業の新会社「(株)富士重工環境システムズ」設立。          企：ホームページを開発。          企：群馬製作所矢島工場第4塗装課にて火災、3,675㎡を焼失。          自：キャンピング機能を搭載した特装車トミンゴ「アラジン」新発売。          自：「スバルECVT」の生産累計100万台達成。          企：川合勇社長が代表取締役会長、田中毅副社長が代表取締役社長に就任。          自：4月に焼失した群馬製作所矢島工場第4塗装課を復旧。第5塗装課と改称しラインオフ式を実施。</p> <p>自：フォレスター、米国インディアナ・モータースピードウェイで24時間世界速度記録(ハーメントロフィー)に挑戦。新記録=平均速度180.082km/hを樹立。          自：スバル、WRCにおいてマニュファクチャラーズ・タイトルを2年連続で獲得。          自：アルシオーネSVX生産終了。</p>	<p>1996年(H8)          2月          3月          4月          5月          6月          7月          8月          10月          11月          12月</p>	<p>航：高性能大型無人ヘリ「RPH2」初飛行に成功。</p> <p>航：B777長距離型機の中央翼初号機出荷。          航：独自開発の新型メインローターシステム(FBR)の初飛行に成功。</p> <p>航：当社設計製造のALFLEX(小型自動着陸実験機)、豪での初飛行、自動着陸に成功。          航：ボーイング737-700用エレベーター量産初号機を納入。</p> <p>航：ボーイング社より日本メーカーで初めて「サプライヤー・オブ・ザ・イヤー」を受賞(主構造部門)。          航：米国RAC社と「ホーカー・ホライゾン」の開発参画について契約。</p>

主要事項・スバル自動車部門	西 暦	部門別主要事項
<p>自：レガシィ国内生産累計 100 万台達成。            企：タイに販売会社「スバルタイランド」を設立。            自：乗用進化型 SUV「フォレスター」新発売。</p> <p>自：大阪府泉大津市に「スバル関西整備センター」を建設するため地鎮祭を実施。            自：トランスケアシリーズを発売し、ウイングステップ、ウイングシート、ストレッチャーを新展開。            自：7 速マニュアルシフトモード付フル電子制御無段変速機「スポーツシフト ECVT」を開発、搭載車を発売。</p> <p>企：輸送機工業とトレーラ事業を移管、統合する契約を締結。            自：レガシィランカスターシリーズを発売。</p> <p>自：関東全域で使用済みバンパーの回収を実施。</p> <p>企：リコール問題で運輸省より行政処分を受ける。            自：台湾・大慶汽車工業股份有限公司でインプレッサの生産を開始。            自：サンバーの ECVT を 3AT に変更。            自：トランスケアシリーズにウイングシートリフトタイプを追加。            自：スバル、WRC において日本車で初めてマニュアルチャラース・タイトルを 3 年連続で獲得</p>	<p>1997年(H9)            1月            2月            3月            4月            5月            6月            8月            9月            10月            11月            12月</p>	<p>航：ビギーバッグ小型衛星の試験用供試体を宇宙開発事業団へ納入。</p> <p>工：オギハラ・エコロジー(株)など 3 社と焼却灰溶融資源化プラントを共同開発。            航：航空機模擬標的機の初号機を防衛庁に納入。            航：遠隔操縦観測システム、防衛庁装備審査会で開発完了承認。</p> <p>工：高層ビルごみ分別搬送システム「ヒュー・ストン」を JR 東日本本社ビルに納入。            産：ロビンマニュアルチャリング USA にて EH65D 型エンジンの生産開始。            航：スバル・ドライビング・シミュレータを東京モーターショーに出品。</p> <p>航：多用途小型無人機の試験用機体を防衛庁に納入。</p>
<p>企：ポルシェ車の日本国内での販売に協力することを発表。            企：使用済み自動車リサイクルイニシアティブ・自主行動計画を策定。            自：インプレッサ「22B-STi Version」発売。            企：自動車の部品センター機能を柯生工業のスバル太田部品工場に集約。            自：新世紀レガシィ、世界最速ワゴン記録更新。1km区間＝270.532km/h(FIA、ACCUS 公認)。</p> <p>企：産業機器事業の欧州販売会社「ロビン・ヨーロッパ」を設立。            企：環境パンフレット「人と社会と地球の調和を目指して」を発行。            自：新世紀レガシィ発売。            自：軽新規格車新コンパクトワゴン「プレオ」発売。</p> <p>企：代議士に対する贈賄容疑で常動監査役逮捕。            企：同容疑で会長逮捕。            自：インプレッサスポーツワゴン「カサブランカ」発売。            自：レガシィ B4 発売。            自：'98、'99RJC ニュー・カー・オブ・ザ・イヤー ダブル受賞。</p>	<p>1998年(H10)            1月            2月            3月            4月            5月            6月            10月            11月            12月</p>	<p>航：ホーカー・ホライゾンの主翼の組立開始。</p> <p>ハ：新型切妻ハウス発売。            航：新航空法に対応する事業認定を取得。</p> <p>工：新型フジマイティ LP38 型発売。            工：新型モートルトラックグッドデザイン賞受賞。            車：JR 北海道宗谷線に新型特急気動車（キハ 261）納入。            バ：ボルボ連節バス 10 両を納入。幕張地区で運行。</p>
<p>自：サンバーフルモデルチェンジ新規格サンバー発売。            企：旧中島飛行機大宮製作所の大煙突解体に伴い安全祈願祭を実施。</p> <p>自：新レオーネバン発売。            自：プレオ「ネスタ」発売。            企：旧大宮製作所跡地における地下水浄化の概要と計画について発表。            自：4WD 車生産累計 500 万台達成。            企：産業機器事業の中国合弁会社「常州富士常柴羅賓汽油機有限公司」を中国・江蘇省に設立。            自：レガシィランカスターに「ランカスター ADA」を追加。            自：国内 5 地区（山形、神奈川、東京、大阪、広島）のスバル特約店を統合。            自：サンバーに新規格軽乗用ワゴン「ディアスワゴン クラシック」を設定、発売。            企：米国ゼネラルモーターズ(株)と資本・業務提携。            企：スズキ(株)と業務提携。            自：スバル、WRC において年間最多勝を達成。</p>	<p>1999年(H11)            2月            3月            6月            7月            9月            10月            12月</p>	<p>工：エレベーター連動清掃ロボットシステムを東京・神田のオフィスビルに納入。</p> <p>産：ポラリス社向けエンジン生産累計 200 万台達成。            航：ホーカー・ホライゾン初号機の主翼を RAC 社（レイセオン・エアクラフト・カンパニー）へ納入。            航：栃木子ども科学館にヘリコプター・シミュレータを納入。</p> <p>車：JR 東日本に新型寝台特急「カシオペア」を納入。</p>
<p>自：レガシィ B4「BLITZEN」を発売。            企：全国で使用済みバンパーの回収を実施。            企：国内関係会社 5 社を金融事業と不動産事業の 2 社に集約。            企：ゼネラルモーターズ（GM）に対する第三者割当による新株式を発行、払込終了。（増資後資本金 144,428 百万円）            企：日産自動車(株)と業務提携を解消。            企：戦略 5 ヶ年中期経営計画「新 TQF21 計画」を発表。            自：新開発 3.0ℓ 水平対向 6 気筒エンジン搭載の「ランカスター 6」を発売。            自：サンバー生産累計 300 万台達成。            自：New Age インプレッサを発売。            企：「2000 環境報告書」を初めて発行。            企：運輸省への申請手続きミスがあり運輸省より警告を受ける。            自：インプレッサ STi シリーズを発売。            自：電気自動車「サンバー EV」を発売。</p> <p>自：インプレッサが日本カー・オブ・ザ・イヤー特別賞を受賞。            自：プレオ「ニコット」を発売。</p>	<p>2000年(H12)            1月            2月            3月            4月            5月            7月            8月            9月            10月            11月            12月</p>	<p>ハ：母屋拡張型介護ルーム「やさしい家族」を発売。            航：DASH8-400 旅客機胴体尾部組立打鉄式挙行。            車：JR 北海道に特急気動車「スーパー宗谷」8 両を納入。</p> <p>航：米国ベルヘリコプターエレクトロニクス社と BA609 ティルトローター機の胴体製造下請契約を締結。            バ：大型観光バスをモデルチェンジ、発売。</p> <p>工：「スバル小型風力発電システム」試作機を公開。            工：回転板式塵芥収集車「フジマイティ LP0 型シリーズ」を発売。            航：対戦車ヘリコプター AH-1S の最終号機を納入。</p>

主要事項・スバル自動車部門	西 暦	部門別主要事項
<p>企：国内関係会社およびスバル特約店の経理業務の集約化を発表。 自：レガシィツーリングワゴン／B4「BLITZEN 2001model」を発売。 企：大和商工㈱の全株式を取得。 企：自動車製造部門（群馬製作所）でゼロエミッションを達成。 企：関係会社の㈱スバル研究所を吸収合併。</p> <p>企：新 TQF21 計画 01 ローリングプランを発表。 自：フィリピンの GM オートワールドでのスバル車販売開始。 自：サンバー「訪問介護車」を発売。</p> <p>企：田中毅社長が代表取締役会長、竹中恭二常務執行役員が代表取締役社長に就任。 自：インドネシアの GM オートワールドでスバル車を販売。 自：GM より OEM 供給を受け、トラヴィックを発売。 企：米国同時多発テロ事件による被害者救援のため、義援金・発電機を提供。 企：オランダ・ロッテルダムに欧州物流管理会社「スバル ヴィークル ディストリビューション」を設立。</p>	<p>2001年(H13) 1月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月</p>	<p>航：航空宇宙技術研究所より、小型超音速ジェット実験機（SST ジェット実験機）の主契約会社として受注。</p> <p>航：米国レイセオン社にて、ホーカーホライゾンの初号機がロールアウト。 ハ：中国東風抗州汽車とバス車体への技術給与契約を締結。 産：ロビン汎用エンジン EY シリーズをモデルチェンジ。 産：新型ロビン汎用エンジン EX シリーズを開発、発表。 工：塵芥収集車フジマイティ累計生産 5 万台を達成。 工：エレベータ連動清掃ロボットシステムを晴海アイランドトリトンスクエアに納入。</p>
<p>自：北米国際自動車ショーにおいて、北米向けモデル「Baja(バハ)」を発表。 自：3.0ℓ 水平対向 6 気筒 DOHC エンジンを搭載したレガシィツーリングワゴン「GT30」及び B4「RS30」を発売。 自：シカゴオートショーにおいてフォレスターのフルモデルチェンジモデルを発表。 自：レガシィ ツーリングワゴン／B4「BLITZEN2002model」を発売。 自：フォレスターをフルモデルチェンジ。 企：宇都宮製作所ならびに宇都宮車両工場、埼玉製作所でゼロエミッションを達成。</p> <p>企：欧州でのスバル事業を統括する「スバル ヨーロッパ社」を設立。 企：日本電気㈱と「NEC ラミリオンエナジー」を設立。(2006.3. 解消) 企：バス車体、鉄道車両の新規生産を 2002 年度限りで終了することを発表。 企：新中期経営計画「Fuji Dynamic Revolution-1」を発表。 自：レガシィ B4「CNG」(天然ガス自動車) 開発を発表。 企：事業持株会社型社内カンパニー制を導入。 企：「環境保全取り組み計画 (2002 年度～ 2006 年度)」を発表。 企：台湾の「大慶汽車工業」、「台湾ベスパ」との合併契約などを解除。新販売会社「スバル オブ 台湾 (SOT)」を立ちあげ。 自：GM、いすゞ、スズキとともに特定品目の購買に関する共同チームを発足。</p> <p>自：レガシィワゴン／B4「BLITZEN6」を発売。 自：スバルフォレスター「CROSS SPORTS」を発売。</p> <p>企：いすゞとスバル・いすゞオートモーティブインクの合併解消と生産委託契約に正式調印。 企：大阪証券取引所および名古屋証券取引所の上場廃止申請。</p>	<p>2002年(H14) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 10月 11月 12月</p>	<p>航：ボーイングの超高速機ソニック・クルーザーの共同研究に関する覚書に調印。</p> <p>工：有機資源物分別収集車「CVSR」を開発、横浜市有機リサイクル協同組合に納入。 工：「有機資源物分別前処理システム」を開発、その実証装置を茨城県つくば市の分離試験場に設置。</p> <p>産：ロビン汎用ミニ 4 サイクルエンジン EH035 を新発売。</p> <p>航：エアバス社の次世代超大型機 A380 プログラムに参画し、垂直尾翼の前縁・後縁構造など生産する契約を締結。</p> <p>航：航空自衛隊向け新初等練習機の初飛行に成功。 航：ボーイング 777 最新型機の初号機用中央翼を納入。</p> <p>産：塵芥収集車臭気除去装置を開発。</p>
<p>企：スバル・いすゞオートモーティブインクを 100% 子会社化。スバル オプ インディアナ オートモーティブ インクに改称。(略称：SIA) 自：ジャトコとの共同出資による CVT 事業を設立。(2006.9. 解消) 自：トヨタと G-BOOK サービスで協力を合意。 自：GM インドにシボレーフォレスターを供給。</p> <p>企：スバルとサーブ 共同開発および販売協力を合意。 自：ジュネーブモーターショーにてコンセプトカー「B11S」を発表。 自：レガシィをフルモデルチェンジ。</p> <p>企：スバルピジターセンターを矢島工場内に開設。 企：コーポレートシンボルを六連星に設定。 自：スバル福岡納整センターを新設。 自：G3X ジャスティを欧州で発売。 自：スバル国内生産累計 1500 万台を達成。 自：レガシィ アウトバックを発売。 自：スバルブランドメッセージ「Think.Feel.Drive」を設定。 自：レガシィが 2003-2004 日本カー・オブ・ザ・イヤーを受賞。 自：「スバル R2」を発売。 自：レガシィ 国内販売累計 100 万台を達成。 自：スバル、WRC においてドライバーズ・タイトル(ペター・ソルベルグ)獲得。</p>	<p>2003年(H15) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月</p>	<p>車：鉄道車両事業を新潟トランスに継承。 ハ：「循環式トイレハウス」を発売。 車：カートレーラー事業を輸送機工業へ営業譲渡。 航：ボーイング・サブライヤー・オブ・ザ・イヤーを受賞。 工：ASR(自動車シュレッターダスト)前処理分別システムを開発。</p> <p>航：エアバス A380 初号機用部品出荷。</p> <p>航：国内初の小型飛行機による完全自動離着陸飛行実験に成功。</p> <p>航：米国新市場用小型ジェット機事業に参画。</p>
<p>企：ハウス事業を分社。 自：スバルカスタマイズ工房がカスタマイズ事業を開始。 自：サーブ 9-2X を群馬製作所で生産開始。 企：関係物流会社を統合。 企：大宮製作所跡地にショッピングセンター「ステラタウン」オープン。 自：中国での販売網構築に着手、現地版社と正式契約。</p> <p>自：スバルとサーブ 新たに新型クロスオーバー車での協業に合意。 企：株式交換により輸送機工業を完全子会社化。 自：スバル、日本初開催の WRC「ラリージャパン 2004」にて優勝(ドライバー：ペター・ソルベルグ)。 自：スバル登録車国内販売累計 300 万台を達成。 企：新人事制度を管理職に導入。 自：スバル R2 が 2005 年次 RJC カー・オブ・ザ・イヤー特別賞ベスト軽乗用車を受賞。</p>	<p>2004年(H16) 1月 3月 4月 6月 7月 8月 9月 10月 11月</p>	<p>航：陸上自衛隊向け遠隔操縦観測システムの飛行試験に成功。</p> <p>工：新明和工業㈱と次世代塵芥収集車を共同開発。</p> <p>産：独ディーゼルエンジンメーカーと販売協力合意。</p> <p>航：777-200LR 型機初号機用の中央翼を納入。</p>

主要事項・スバル自動車部門	西 暦	部門別主要事項
<p>企：東京都八王子市に「スバルアカデミー」を開設。  自：「スバル R 1」を発売。  自：スバル車の国内新車販売累計台数 1,000 万台を達成。  自：レガシィが世界累計生産台数 300 万台を達成。</p> <p>自：米国で「B9 トライベッカ」を発売。  企：東京電力と業務用電気自動車の共同開発を開始。  企：GM との提携関係を解消、トヨタ自動車と業務提携を結ぶことで基本合意。</p>	<p>2005年(H17)</p> <p>1月</p> <p>3月</p> <p>4月 5月</p> <p>6月 9月 10月 12月</p>	<p>航：次期固定翼哨戒機の中央翼を初出荷。  工：新型塵芥収集車「フジマイティー LP71 型シリーズ」の販売を開始。  航：ボーイング 787 プログラムに参画し、中央翼などを担当する契約に調印。</p> <p>航：次期輸送機の主翼を初納入。  航：次期哨戒機の主翼を初納入。  工：2000kW 大型風力発電システム開発、試作機を設置。</p>
<p>企：45 才以上の社員約 700 名の希望退職を実施。  自：メキシコ市場へスバル車導入、現地販売網設立。  自：スバル フォレスター累計生産台数 100 万台を達成。</p> <p>自：国内 5 地区（北海道、中部、四国、北九州、南九州）のスバル特約店を統合。</p> <p>自：水平対向 2.5ℓ ターボエンジンが「インターナショナル・エンジン・オブ・ザ・イヤー 2006」の部門賞を受賞。  企：竹中恭二社長が取締役相談役、森郁夫常務執行役員が代表取締役社長に就任。  自：新型軽乗用車「スバル ステラ」を発売。  自：国内スバル販売会社でのボルボ車販売 15 拠点をヤナセグループに営業譲渡。  自：東京電力に電気自動車「R1e」試作車 10 台を納入。  自：ウクライナでスバル車の販売を本格展開。  自：和歌山スバル自動車㈱と大阪スバル㈱を統合。  自：電気自動車開発で、東京電力、NEC ラミリオンエナジーと「平成 18 年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰」を受賞。  企：第 33 回社会人野球日本選手権大会優勝。  企：ロボットによるビルの清掃システムが評価され、住友商事と共同で「今年のロボット」大賞 2006（経済産業大臣賞）を受賞。</p>	<p>2006年(H18)</p> <p>1月</p> <p>2月 3月 4月</p> <p>5月</p> <p>6月</p> <p>7月 10月 11月</p> <p>12月</p>	<p>航：陸上自衛隊向け戦闘ヘリコプター AH-64D の初号機を納入。  産：関東地域と中部地域のロビン特約店 2 社を吸収合併し、全国規模の販売会社「富士重工産機販売」を設立。  航：愛知県半田市にボーイング 787 向け中央翼組立工場・複合部品製造工場が完成。</p> <p>航：小型ビジネスジェット機「エクリプス 500」の量産主翼を初納入。</p> <p>工：大型風力発電システムが「新工ネ大賞 資源エネルギー庁長官賞」を受賞。  産：スポーツカート用エンジン「スバル KX21」を新発売。</p>
<p>企：欧州市場向け新型小型乗用車の OEM 契約をダイハツと締結。  企：2007-2010 新中期経営計画を策定。  企：SIA でトヨタ車（カムリ）の生産開始。  企：富士ロビン株式をマキタへ売却。  企：住友商事・CIMC と環境保護車種及び環境保護設備・機器の製造販売に関する合弁会社を中国に設立。  自：インプレッサシリーズをフルモデルチェンジ。</p> <p>自：ダイハツより OEM 供給を受け「スバル ジャスティ」を欧州で発売。  自：インプレッサ BEAMS EDITION を発売。  自：フォレスターをフルモデルチェンジ。</p>	<p>2007年(H19)</p> <p>1月</p> <p>2月</p> <p>4月 5月 6月</p> <p>7月 9月 11月 12月</p>	<p>航：ボーイング 787 の中央翼を初出荷。  産：スバル充電式草刈機「e カッター PRO」を新発売。</p> <p>工：新型塵芥収集車「フジマイティー LP81 型シリーズ」の販売開始。</p> <p>工：屋外型清掃ロボットシステムを実用化。  産：ロビン汎用エンジン EX シリーズに 2 機種を追加。</p>
<p>自：水平対向ディーゼルエンジンをレガシィとアウトバックに搭載し、欧州市場へ導入。  企：スバル生誕 50 周年。  企：トヨタ・ダイハツ・富士重、開発・生産における新たな協力関係に合意。  自：インプレッサが「自動車アセスメントグランプリ」を受賞。  自：新型車「スバル EXIGA」を発売。  自：「スバル プラグイン ステラ コンセプト」を開発。  自：インプレッサ 4 ドアモデル「アネシス」を発売。  自：ダイハツより OEM 供給を受け「スバル テックス」を国内で発売。  自：世界ラリー選手権ワークス活動を終了。</p>	<p>2008年(H20)</p> <p>2月</p> <p>3月 4月</p> <p>6月</p> <p>10月 11月 12月</p>	<p>航：777 型フレイター初号機用の中央翼を出荷。  航：海上自衛隊初等練習機 T-5 の製造を再開。</p>
<p>自：「水平対向ディーゼルエンジン」が第 6 回新機械振興賞「機械振興協会会長賞」を受賞。  自：国内のスバル販売会社を統括会社体制へ完全移行。  自：新型スバル レガシィ シリーズを発売。  自：「スバル プラグイン ステラ」を発表。  自：スバル全モデルが米国 IIHS の 2009 年安全評価で最高評価である「トップセーフティピック」を獲得。  自：スバル ディアスワゴン（Dias Wagon）を発売。  自：スバル全モデルが米国 IIHS の最新 2010 年安全評価で最高評価であるトップセーフティピックを獲得。</p>	<p>2009年(H21)</p> <p>1月</p> <p>5月 6月 9月</p> <p>11月</p>	<p>産：エンジン式刈払機「スバル ロビんカッター」を新発売。</p> <p>工：自律式走行ロボットの走行プログラム自動生成システムを開発。  工：農業用ロボットシステムを開発、サービスロボット市場を拡大へ。  工：住友商事と富士重工業、オフィスエリア清掃ロボットシステムを共同開発。</p>

主要事項・スバル自動車部門	西 暦	部門別主要事項
<p>自：新型軽自動車 スバル ルクラを発売。</p> <p>自：スバル プレオシリーズをフルモデルチェンジ。</p> <p>自：スバル レガシィが「自動車アセスメントグランプリ '09/'10」を受賞。</p> <p>自：運転支援範囲を大幅に拡大した先進運転支援システム「新型 EyeSight (アイサイト)」を開発。</p> <p>自：「インプレッサ XV」を発売</p> <p>自：富士重工業、新世代ボクサーエンジンを開発</p> <p>自：先進運転支援システム「EyeSight(ver.2)」が日本自動車殿堂カーテックノロジーオブザイヤーを受賞</p> <p>自：群馬製作所開設 50 周年</p> <p>自：新型コンパクトカー スバル トレジアを発売</p> <p>自：スバル WRX STI 4 ドア A-Line が「オートカラーアワード 2011 インテリア部門賞」を受賞</p> <p>自：スバル インプレッサ「WRX STI tS」・「WRX STI spec C」を発売</p> <p>自：スバル全モデルが米国 IIHS の最新 2011 年安全評価で最高評価である「トップセイフティピック」を獲得</p>	<p>2010年(H22)</p> <p>1月</p> <p>3月</p> <p>4月</p> <p>6月</p> <p>7月</p> <p>9月</p> <p>10月</p> <p>11月</p> <p>12月</p>	<p>工：サービスエリア清掃ロボットシステムを共同開発。</p> <p>工：電動式塵芥収集車「フジマイティエレクトラ」を新発売。</p> <p>工：SUBARU80/2.0 風力発電システムが国内初の港湾外洋上風力発電施設で本格稼働開始</p> <p>産：富士重工業 スバル汎用エンジン「E A-Vシリーズ」を新開発</p> <p>産：富士重工業 ランマー専用エンジン「E R 1 2」を新開発</p>
<p>自：スバル レガシィ「EyeSight( アイサイト ) (ver.2)」搭載モデルが販売台数 1 万台を達成</p> <p>自：富士重工業 国内スバル特約店の全店が「エコアクション 2 1」の認証取得</p> <p>自：新型軽乗用車 スバル ステラを発売</p> <p>企：森郁夫代表取締役社長が代表取締役会長、吉永泰之取締役兼専務執行役員が代表取締役社長に就任。</p> <p>企：2011-2015 中期経営計画「Motion- V」を策定</p>	<p>2011年(H23)</p> <p>1月</p> <p>3月</p> <p>4月</p> <p>5月</p> <p>6月</p> <p>7月</p>	<p>工：SUBARU80/2.0 風力発電システム 11 基が御前崎風力発電所で本格稼働開始</p> <p>航：富士重工業と東大、機体破損後の航空機の自動飛行実験に成功</p>

富士重工業株式会社 広報部  
東京都新宿区西新宿一丁目7番2号  
電話 03(3347)2029 (直通) 〒160-8316

ホームページ <http://www.fhi.co.jp/>  
SUBARUコール 0120-052215 (お客様専用)